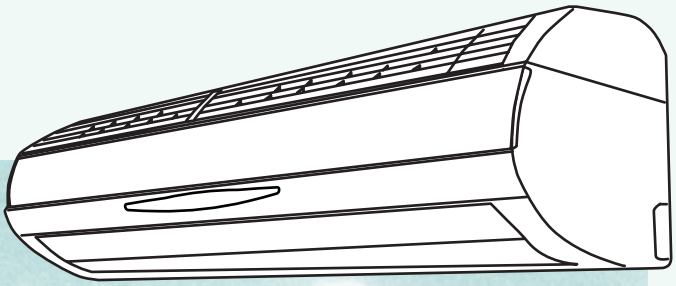
FUJITSU

取扱説明書

ルームエアコン

nocria
ノクリア



室内ユニット
AS28JPZ
（室外ユニット AO28JPZ）

正しくお使いいただくために、
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに
『保証書』とともに必ず保存してください。
●据付けや取りはずしには、専門技術が必要です。
　必ずお買上げの販売店にご相談ください。

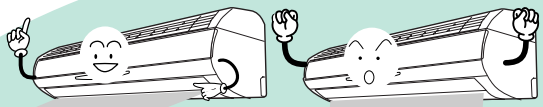
保証書別添

株式会社 富士通ゼネラル

特長

一年中使うエアコンだから
より使いやすく、快適に……。

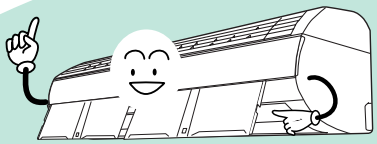
水平気流冷房＆真下気流暖房



冷房時は風が直接当たらない体にやさしい水平気流で、暖房時は足元から強力な温風で、お部屋を快適にします。

フィルターオートクリーン機能〔おそうじおまかせフィルター〕

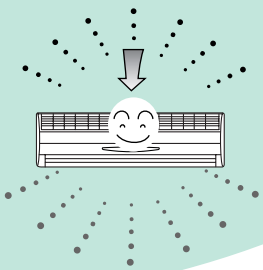
30～31ページ



一定時間ごとに自動的にエアフィルターのおそうじをします。エアフィルター清掃の手間が省ける便利な機能です。

UV空気清浄・マイナスイオン運転

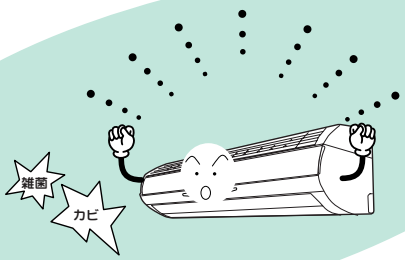
20ページ



UV（紫外線）の力でお部屋の空気を除菌します。
〔(財)北里環境科学センター不活化効果確認試験〕
また、同時にからだにやさしいマイナスイオンをお部屋に広げます。

UV内部クリーン運転

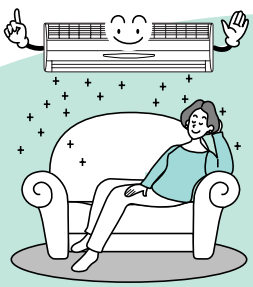
21ページ



UVの力で、室内ユニット内部にカビや雑菌が繁殖することを抑えます。

除湿モード運転

18～19ページ

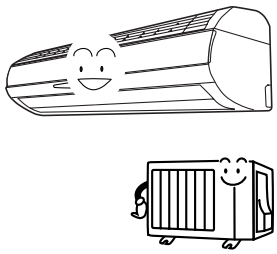


肌寒くならない快適な除湿運転やすばやく洗濯物を乾かすランドリー運転など、用途に合わせて4つの除湿運転が選べます。

目次

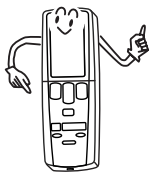
ページ

ご使用の前に



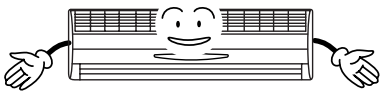
安全上のご注意……4
知っておいていただきたいこと……8
上手な使い方・ご使用上の知識……9
各部の名前と働き……10
運転前の準備……14

運転のしかた



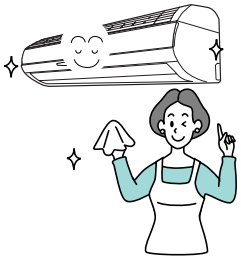
自動・暖房・冷房・送風運転……16
除湿モード運転……18
UV 空気清浄・マイナスイオン運転……20

便利な機能



UV 内部クリーン運転……21
風向調節……22
スイング風向……23
省パワー運転……24
ダッシュ運転……25
切タイマー・入タイマー……26
切・入プログラムタイマー……27
ワンタッチ切タイマー……28
温度・湿度モニター……29
フィルターオートクリーン機能……30

お手入れ



お手入れのしかた……32
●ダストボックスのお手入れ……32
●エアフィルター、本体のお手入れ……35
●天面グリルのお手入れ……36
●マイナスイオン発生器のお手入れ……37
シーズン前後のお手入れ……38

困ったときなど

リモコンが使えないとき……39
HA 端子について……39
修理を依頼される前に……40
アフターサービス……43
仕様……裏表紙

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
●「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

絵表示について

⚠記号は、警告・注意を告げるものです。

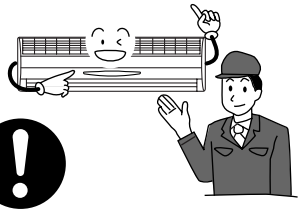
⃠記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や修理・改造の禁止）

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店にご依頼を



●ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

電源は必ずエアコン専用のコンセントをお使いください

●エアコンのコンセントを他の電気機器と共用すると電源の容量が不足し、火災の原因となります。

エアコンを移設する場合は、お買上げの販売店にご相談を

●移設工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

⚠注意

アースを取り付けて

●対地電圧が150ボルトを超える電源で使用する場合にあっては、必ずアースを取り付け、その他の場合にあっては、できるだけアースを取り付けて使用してください。
●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
ガス管：爆発や引火の危険
水道管：アースの役目をしない
避雷針、電話のアース線：落雷のとき危険
●アースが不完全な場合は感電の原因となることがあります。
●アースは、アース接続用ネジにつないでください。
●アースは、感電防止の他に、テレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

次ページへつづく

据付け時

⚠注意

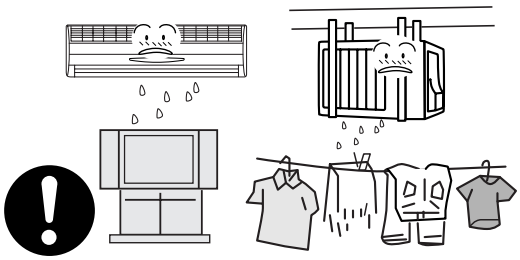
漏電遮断器を取り付けて

●据付場所によっては漏電遮断器の取付けが法規で義務づけられています。お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
●漏電遮断器がないと、感電の原因となることがあります。

可燃性ガスが漏れる恐れのある所へは据え付けないで

●万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火の原因となることがあります。

室内外機の下に他の電気製品や家財などを置かないで

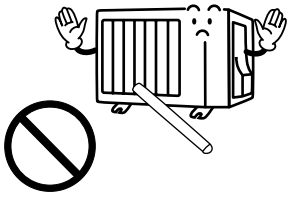


●水滴が滴下することがあり、汚損や故障の原因となることがあります。

ご使用時

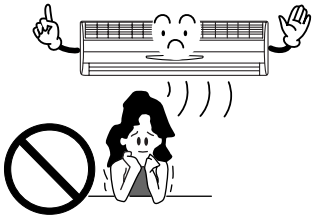
⚠警告

吹出口や吸込口に指や棒などを入れないで



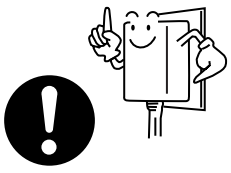
●内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、ケガや感電の原因となります。
●特にお子様にご注意ください。

長時間冷風を身体に当てたり冷やし過ぎたりしないで



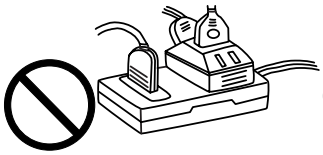
●体調悪化、健康障害の原因となります。
●特に、就寝時や乳幼児、お年寄り、病気の方などがいる場合にはご注意ください。

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んで



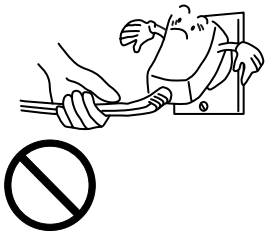
●ホコリが付着していたり、差込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないで



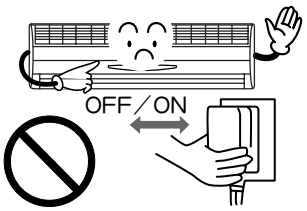
●火災・感電の原因となります。

電源コードを破損しないようにご注意を



●電源コードは、束ねたり、重い物を乗せたり、引っ張ったりすると破損することがあります。傷んだまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグの抜き差しにより、エアコンの停止や運転をしないで



●火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

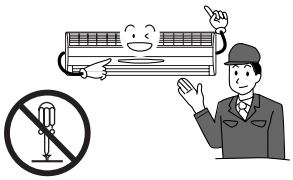
ご使用時

⚠警告

異常時（こげ臭い等）はすぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご連絡を

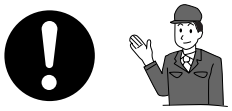
●異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因となります。

修理はお買上げの販売店にご依頼を



●ご自分で分解や修理をされ不備があると、火災・感電の原因となります。

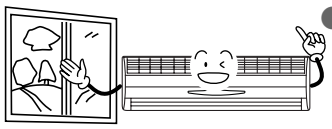
エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買上げの販売店にご相談を
冷媒の追加に伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認して



●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因となります。

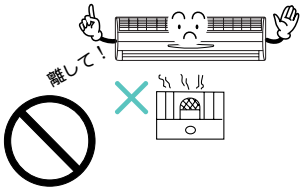
⚠注意

運転中はときどき換気を



●特に冬期にストーブなどと一緒に運転するときは、こまめに換気をしてください。
●換気が不十分な場合は、酸素不足の原因となることがあります。

エアコンの風が直接当たる所に燃焼器具を置かないで

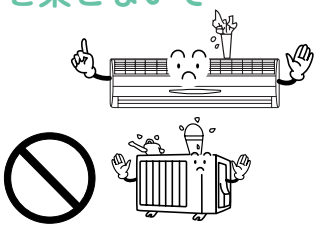


●燃焼器具に風が当たると、不完全燃焼を起こしたり火災の原因となることがあります。

室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないで

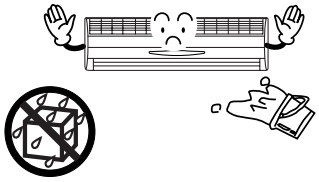
●落下、転倒などにより、ケガの原因となることがあります。

エアコンの上に花瓶等の水の入った容器を乗せないで



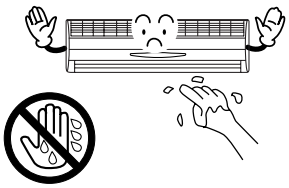
●水がこぼれるとエアコン内部に浸水して電気絶縁が低下し、感電等の原因となることがあります。

エアコンを水洗いしないで



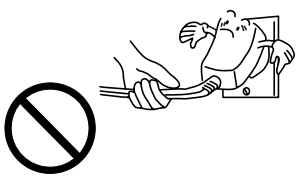
●電気絶縁が悪くなり感電の原因となることがあります。

濡れた手で本体のスイッチを操作したり、電源プラグの抜き差しをしないで



●感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときにコードを引っ張らないで



●コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線し、発熱発火の原因となることがあります。

ダストボックスの清掃などをするときは必ず運転を停止し、電源プラグも抜いて

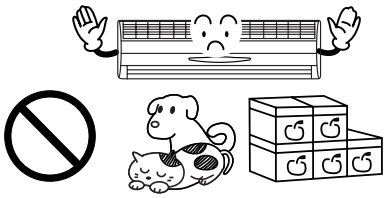
●内部でファンが高速回転していますのでケガの原因となることがあります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いて

●プラグにホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

⚠注意

犬や猫などの動物の飼育、植物の栽培、食品・精密機器・美術品の保存などの特殊な用途には使用しないで

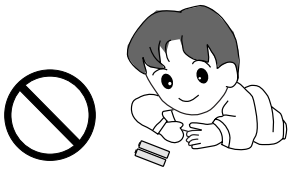


●動物の正常な生育の障害や、品質劣化の原因となることがあります。
●この製品は一般家庭用です。これらの特殊な用途には使用しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間の使用で据付台等が傷んでいないかご注意を

●傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながり、ケガの原因となることがあります。

幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意を



●電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させるか、医師にご相談ください。健康を害する原因となります。

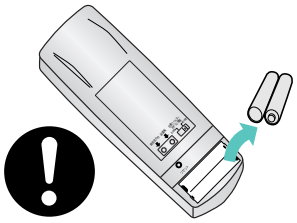
ダストボックス・天面グリルの掃除のときなど不安定な台に乗らないで

●転倒などによるケガの原因となることがあります。

エアフィルター・ダストボックスを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しをして

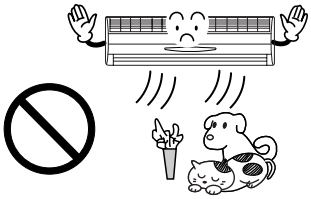
●水気が残っていると感電の原因となることがあります。

長期間リモコンを使用しない場合は電池を取り出して



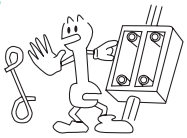
●電池から液が漏れる場合があります。
●漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお症状によっては、医師にご相談ください。

動植物に直接風が当たる場所には設置しないで



●動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

正しいアンペアのヒューズ以外は使用しないで

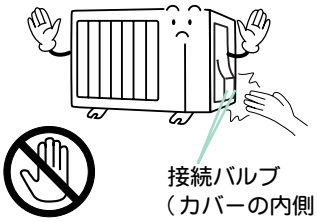


●ヒューズ以外は使用しないでください。火災の原因となることがあります。

清掃のときなど、ダストボックス・天面グリルの取り付けは確実に

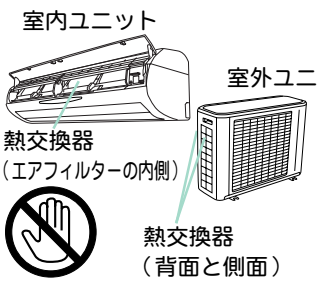
●取り付けに不備があると、ダストボックスの落下によるケガの原因となることがあります。(☞34、36ページ)

接続バルブは、暖房時に熱くなるので触らないで



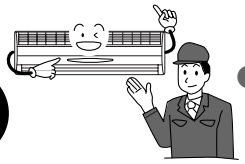
●接続バルブに触れるとやけどの原因となることがあります。

熱交換器に触らないで



●ケガの原因となることがあります。
●特に、掃除のときなどにご注意ください。

室内ユニット内部の清掃は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談を



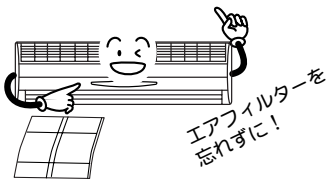
●市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

知っておいていただきたいこと

故障を防ぐために必ずお読みください。

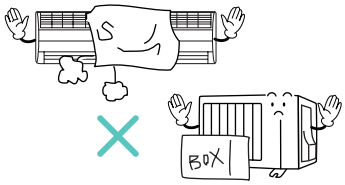
使用上のお願い

エアフィルターを入れて運転をしてください。



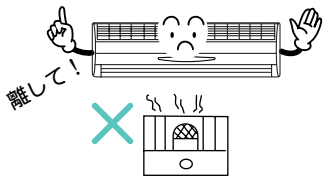
●入れないで運転すると機械が汚れ、故障の原因となります。

吸込口・吹出口をふさがないでください。



●障害物があると性能が低下したり、正常な運転ができず、故障の原因となります。

エアコンのそばにストーブなどを置かないでください。



●熱のため外装が変形することがあります。

据付け上のお願い（移設工事には、必要な実費がかかります）

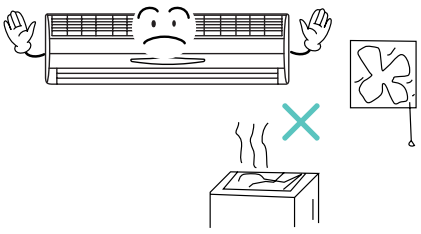
特殊な場所での据付けは販売店にご相談ください。

●海浜地区で潮風の当たる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、機械油の多い所などでご使用になる場合は、腐食などにより故障の原因となることがありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

積雪が多い地域の設置にもご配慮を

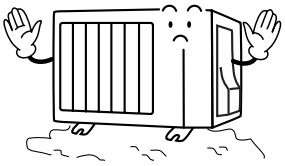
●室外機の吸込口や吹出口が雪でふさがれると、暖まりにくくなったり、故障の原因となることがあります。防雪の処置が必要となりますので、お買上げの販売店にご相談ください。

排気口、換気扇など蒸気、油煙、チリ、ホコリの排出される付近は避けてください。



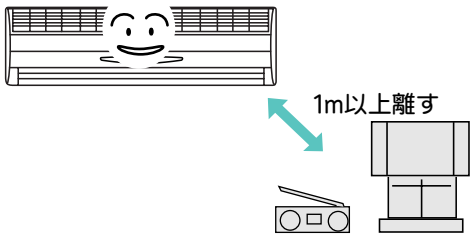
●油煙のある場所や、工場などで油を多く使用している付近への据付けは避けてください。故障の原因となることがあります。

除湿水の処理しやすい所に据え付けてください。



●除湿水が隣家などの迷惑とならないようにしてください。
●暖房・除湿モード運転のときには、室外ユニットから水が出ます。また冷房・除湿モード運転のときには、接続バルブに水がつき、室外ユニットから流れ出すことがあります。

エアコン本体及びリモコンは、テレビやラジオから 1m 以上離してください。



●テレビやラジオに映像の乱れや雑音が入る場合があります。

騒音にもご配慮を

●据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口の近くに物を置くと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近に障害物を置かないでください。
●エアコンをご使用中異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

上手な使い方

エアコンの上手な活用法です。

窓やドアは必要以外は閉めて

冷気や暖気が逃げないように窓やドアは必要なとき以外は閉めてください。

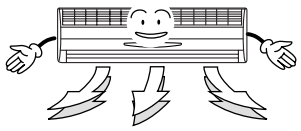
熱の侵入や発生を少なく

冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンを引くか、ブラインドをおろしてください。

室内温度は適温に

冷やしすぎ、暖めすぎは健康上よくありません。
また、電気のムダ使いにもなります。

室内温度はムラのないように



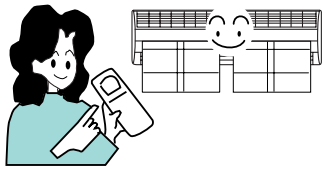
風向きを調節

室温のムラが少なくなるように、上下、左右方向に風向きを調節してください。

タイマーを有効に

タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

エアフィルターの清掃はこまめに



エアフィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷・暖房効果を弱めます。

ご使用上の知識

エアコンのご使用にあたっては、次のことをご了解願います。

運転と性能について

暖房能力

●このエアコンはインバーターの働きにより、外気温度が低下すると圧縮機の回転数を上げ、能力の低下を防ぎますが、それでも暖房能力が不足する場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

自動霜取り運転

●外気温度が低く湿度が高いときに暖房・除湿モード運転を行うと、室外ユニットに霜がつき、暖房能力が低下します。このようなときはマイコンにより、除霜運転（霜取り）が始まり、暖房・除湿がいったん止まります（室内・室外ファンが停止します）。元の運転に戻るまでに約４～15分程度の時間がかかります。除霜運転時は運転ランプ（赤）が点滅します。

●OFF時除霜
暖房・除湿モード運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います。このとき室内ユニットの運転ランプ（赤）が点滅し、室外ユニットだけが数分間運転した後に止まります。
次回の運転時には、霜なし状態でスタートさせる快適機能です。

スタートダッシュ機能

●暖房または冷房運転で運転を開始した場合、運転開始から約1時間経過するまでは、お部屋を素早く暖めたり冷やしたりするために、自動的にリモコンの設定温度より暖房時：約2℃高め、冷房時：約1℃低めで運転します（1時間を経過したら、リモコンの設定通りの温度に戻ります）。

運転停止時の消費電力（待機時消費電力）

●リモコンで停止したときは、0.9Wの電力を消費します。

予熱機能

●外気温度が約10℃以下になると、自動的に圧縮機を予熱し、暖房運転開始時のお部屋の暖まりを早くします（消費電力約20～40W）。

温度・湿度の範囲について

ご使用になれる温度・湿度の範囲は、次の表のとおりです。

冷房運転	室外温度　約21～43℃ 室内湿度：約80%以下 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコン表面に露がつき、滴下することがあります。
除湿モード運転	室外温度　約1℃以上 室内湿度 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコン表面に露がつき、滴下することがあります。
暖房運転	室外温度　約24℃以下

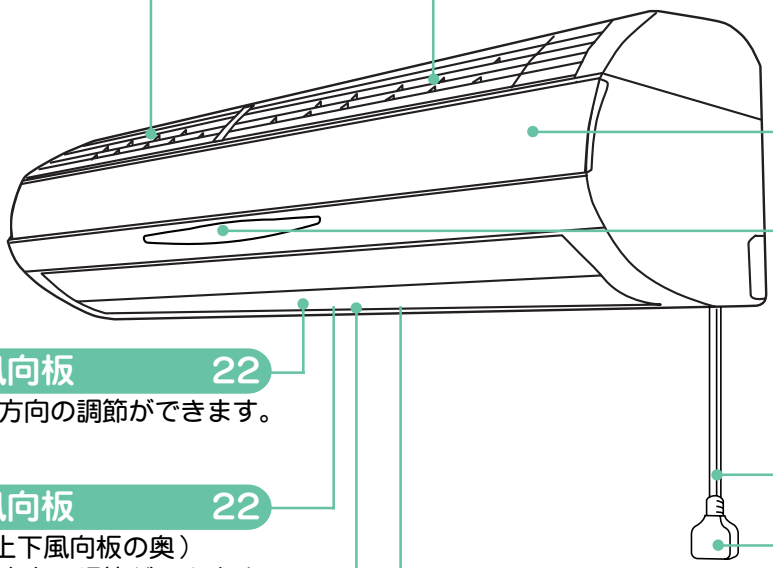
●上記使用範囲より高い温度で運転すると、自動保護装置が働き、運転を停止することがあります。
また、冷房・除湿モード運転の場合、上記使用範囲より低い温度で運転すると、熱交換器が凍り、水漏れなど故障の原因となることがあります。

●エアコンは、お部屋の冷房・暖房・除湿または送風以外の目的にご使用にならないでください。

各部の名前と働き

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは　　内のページをご覧ください。

室内ユニット（本体）



天面グリル　36
取りはずしてお手入れができます。

オープンパネル

本体表示部　11

上下風向板　22
風の上下方向の調節ができます。

左右風向板　22
（上下風向板の奥）
風の左右方向の調節ができます。

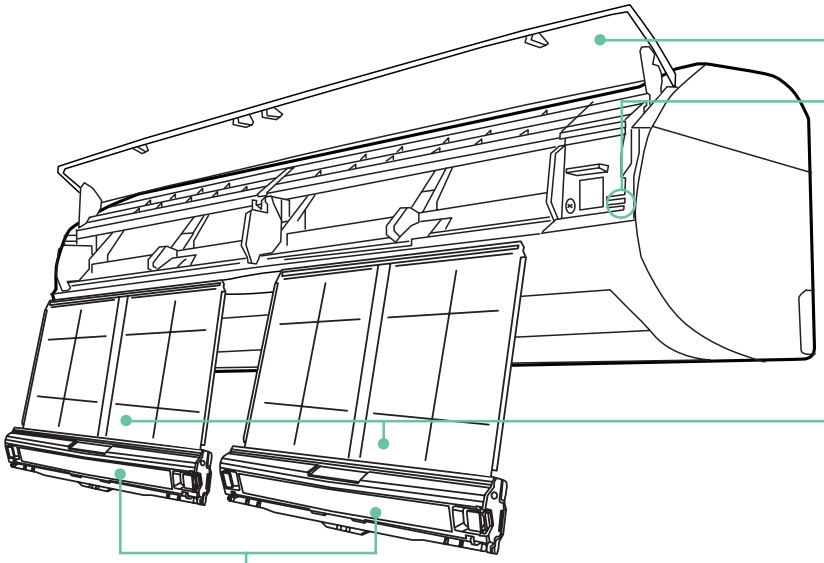
パワーディフューザー
運転時に開きます。また、暖房運転の下吹き時は温風を足元まで届けるために大きく開きます。

電源コード

電源プラグ

マイナスイオン発生器 37
（吹出口の奥）

オープンパネルを開けてダストボックスを引き出した状態



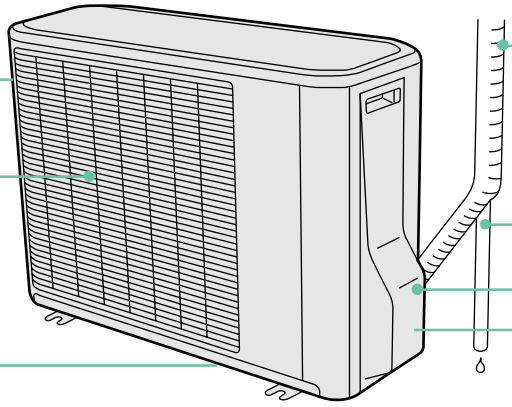
オープンパネル

お手入れ終了・応急運転ボタン
ダストボックスのお手入れが終了したときに押すボタンです。（☞34 ページ）
また、3秒間押し続けるとリモコンが使えないときなど応急運転するためのボタンとなります。（☞39 ページ）

エアフィルター　35
ホコリやゴミが内部に入るのを防ぎます。

ダストボックス　32
フィルターオートクリーンで回収したホコリがたまります。取りはずして水洗いができます。

室外ユニット



吸込口
（背面、側面）

吹出口
冷房または除湿モード運転時には温風が、暖房運転時には冷風が吹き出します。

排水口
（底面）
暖房・除湿モード運転時には水が出ます。

配管と接続電線

ドレンホース
冷房または除湿モード運転時に、室内ユニットで除湿した水を排水します。

電装カバー

アース接続用ネジ
（電装カバーの内側）

お願い
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。破損の原因となります。

本体表示部

湿度・湿度モニターランプ（緑）29
＜外気温・室温・湿度＞

ダッシュランプ（橙）25

お手入れランプ（緑・赤）31
緑色の点灯
フィルターオートクリーンが正常に動作しているときに点灯します。
緑色の点滅（約2秒に1回）
フィルターオートクリーンが正常に動作できないときに点滅します。
赤色の点灯
ダストボックスの清掃時期をお知らせします。

UV空清・マイナスイオンランプ（青）20

運転ランプ（赤）
運転中に点灯します。

タイマーランプ（緑）26～28

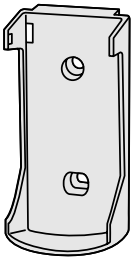
リモコン受信部 15

温度・湿度モニター（緑）29

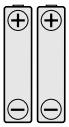
お知らせ
- 運転ランプとタイマーランプが交互に点灯しているときは、停電などでいったん電源が切れたことを示します。
- 運転ランプとタイマーランプが同時に点滅しているときは、試運転に設定されていることを示します。（☞13ページ）

付属品

リモコン
（1個）
☞12～15ページ



リモコンホルダー
（1個）
☞15ページ



単四形アルカリ乾電池
（2本）

各部の名前と働き（つづき）

運転操作はリモコンで行います。各部の名前と働きを確認してください。
詳しくは　　内のページをご覧ください。

リモコン

フタを閉じたとき　フタを開けたとき

リモコン送信部
エアコン本体に信号を送ります。

リモコン表示部
運転状態を表示します。

UV 空気清浄ボタン　20

温度設定ボタン
温度の設定、変更を行います。

除湿ボタン　18

湿度設定ボタン　19

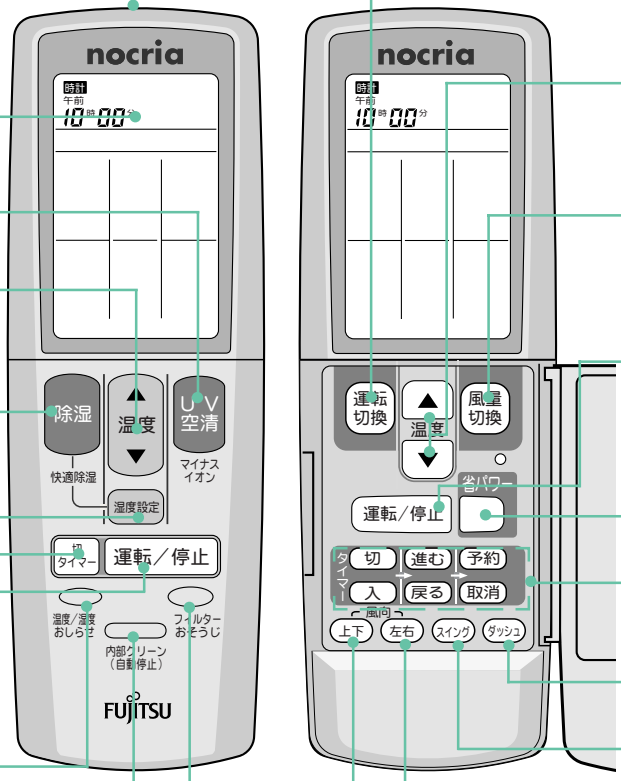
ワンタッチ切タイマーボタン　28

運転 / 停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

温度 / 湿度おしらせボタン　29

内部クリーンボタン　21

フィルターおそうじボタン　31



運転切換ボタン
運転の種類を切り換えます。

温度設定ボタン
温度の設定、変更を行います。

風量切換ボタン
風の強さを切り換えます。

運転 / 停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

省パワーボタン　24

タイマー設定ボタン 26～27

ダッシュボタン　25

スイングボタン　23

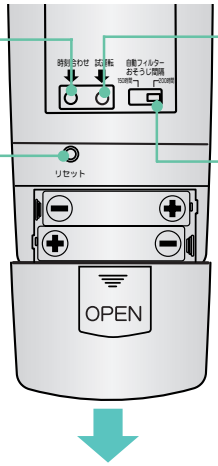
左右風向ボタン　22

上下風向ボタン　22

リモコン裏面（電池ブタを開けたとき）

時刻合わせボタン　15
時刻の設定を行います。

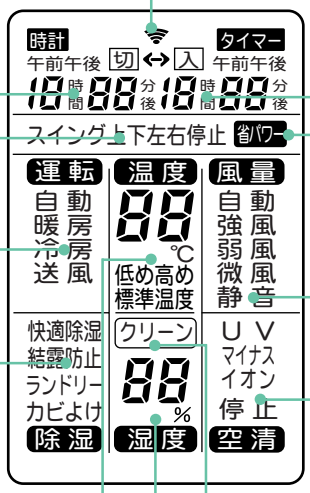
リセットボタン　14
（電池ブタの中）
電池交換をしたときに使うボタンです。



試運転ボタン　13
エアコン据付け時などに使います。

フィルターおそうじ間隔切換スイッチ　30
フィルターオートクリーンが動作するまでの運転時間を設定します。

リモコン表示部



現在時刻・切タイマー時刻表示

現在時刻か切タイマーの動作時刻（または時間）を表示します。現在時刻が表示されていれば「時計」が、切タイマー時刻（または時間）が表示されているときは「タイマー」と「切」が表示されます。

スイング表示　23

設定されたスイングモードを表示します（上下スイング、左右スイング、上下左右スイング、スイング停止）。

運転モード表示

設定された運転の種類を表示します。

除湿モード運転表示　18

設定された除湿モードを表示します。（快適除湿、結露防止、ランドリー、カビよけ）

温度表示

設定された温度を表示します。

お部屋の状態により、室温と設定した温度が異なる場合があります。

送信表示

本体へ信号を送るときに表示します。

入タイマー時刻表示

入タイマーの動作時刻を表示します。このとき「タイマー」と「入」が表示されます。

省パワー表示　24

省パワー運転のソフト運転時に点灯します。

風量モード表示

風量（風の強さ）を表示します。

空清運転モード表示　20

設定された空清運転モードを表示します（UV・マイナスイオン、空清停止）。

クリーン表示　21

UV内部クリーン運転中に表示します。

湿度表示　19

設定された湿度を表示します。快適除湿運転時に設定することができます。

お部屋の状態により、室内湿度と設定した湿度が異なる場合があります。

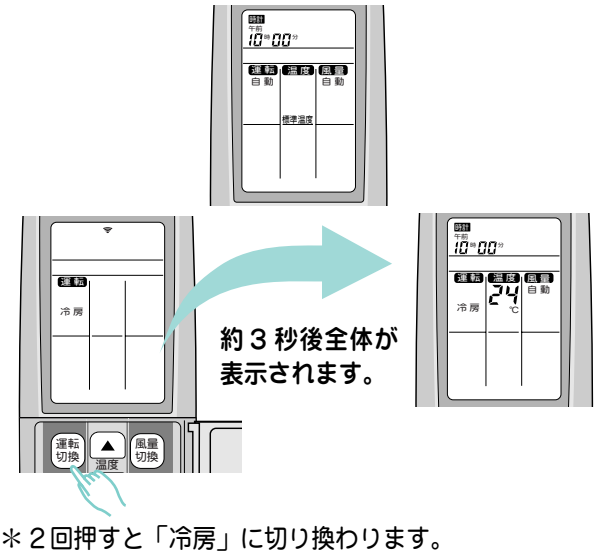
説明のため全部表示した図になっていますが、実際には、該当するところだけを表示します。

リモコン操作と表示について（そこだけ表示機能）

●リモコンのボタン操作を行うと、操作に関する内容だけを表示し、その他の表示は消えます（そこだけ表示機能）。操作内容が確認しやすい便利な機能です。

●運転切換・温度切換・風量切換などは1回押すとそこだけ表示機能が働き、2回目のボタン操作から設定内容の変更が行われ、本体に信号が送信されます。

（例）「自動」運転中に運転切換ボタンを押した場合



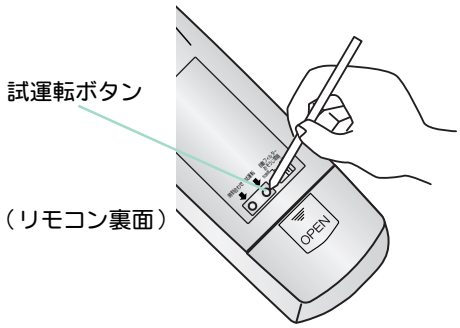
＊２回押すと「冷房」に切り換わります。

試運転ボタンについて

●このボタンは、エアコン据付け時などに使用します。ふだんは使用しないでください（室温調節機能が働きません）。

●運転中にこのボタンを押すと試運転に設定され、エアコン本体の運転ランプとタイマーランプが同時に点滅します。

●試運転をやめるときは、運転／停止ボタンを押して運転を停止してください。



強制冷房運転について

●冷房運転中にこのボタンを押すと、強制冷房運転となり室温に関係なく冷房運転を行います（室温調節機能は働きません）。

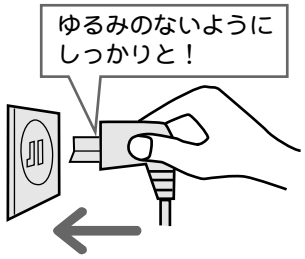
●強制冷房運転は、エアコンを移設する場合など室外ユニットへ冷媒を回収するときに使用します（ふだんは使用しないでください）。

運転前の準備

本体の準備

① 電源プラグをコンセントに差し込む

（単相 100V　20A）



⚠警告

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

●ホコリが付着していたり、差し込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。

●火災・感電の原因となります。

電源プラグの抜き差しにより、エアコンの停止や運転をしないでください。

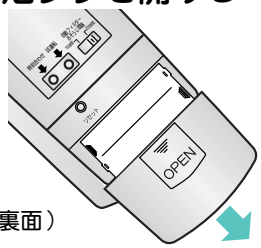
●火災・感電の原因となります。

リモコンの準備

ご使用前にリモコンに電池を入れ、現在時刻（時計）を合わせてください。

電池の入れ方（単四形アルカリ乾電池を2本）

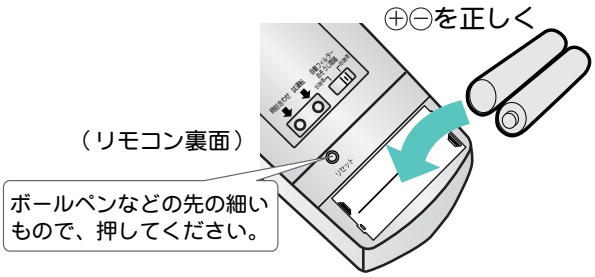
① 裏面の電池ブタを開ける



（リモコン裏面）

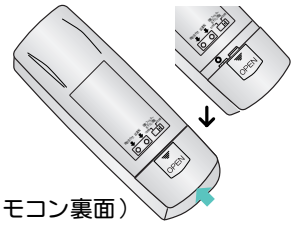
▼を押しながら矢印の方向に引く。

② 単四形アルカリ乾電池を入れて、リセットボタンを押す



●電池を交換した後の誤動作を避けるため、必ずリセットボタンを押してください。

③ 電池ブタを閉める



（リモコン裏面）

⚠注意

●幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意ください。

●長期間リモコンを使用しない場合は、電池を取り出してください。電池から液が漏れる場合があります。

＊漏れた液が皮膚に付いたり、目や口に入った場合には、ただちに水で洗い流してください。なお症状によっては医師にご相談ください。

お願い

●新旧、異種の電池を混用しないでください。

●ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は、電池を交換しリセットボタンをボールペンなどの先の細いもので押してください。

＊エアコンに近づかないと受信しない場合

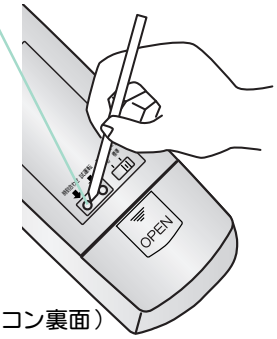
＊リモコンが正しく動作しない場合

＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

現在時刻の合わせ方

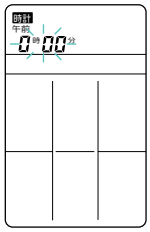
① 時刻合わせボタンを押す

時刻合わせボタン



（リモコン裏面）

<リモコン表示部>

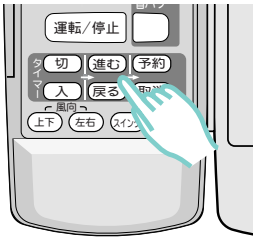


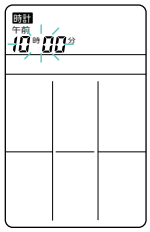
時間表示が点滅します。

ボールペンなどの先の細いもので、押してください。

② フタを開けて「進む」「戻る」ボタンで時刻を合わせる

（例）午前10時00分に合わせたとき





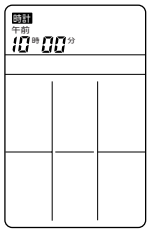
進むボタン…時刻を進めるとき

戻るボタン…時刻を戻すとき

1回押すと1分変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

③ 予約ボタンを押す

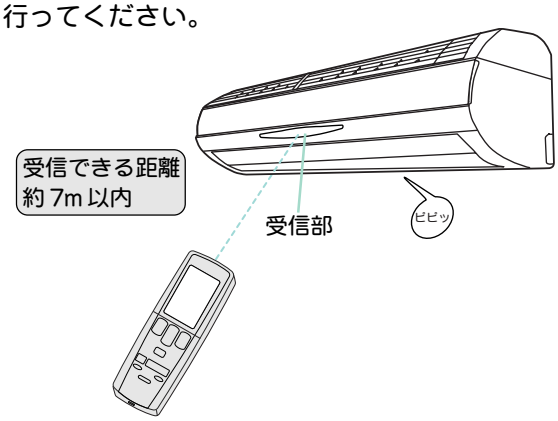
これで時刻がセットされます。



時間表示の点滅が止まります。

リモコンを操作するとき

- リモコンは、受信部に正しく向けて操作してください。
- 本体がリモコンからの信号を正しく受けると受信音が鳴ります。
- 受信音が鳴らない場合は、再度リモコン操作を行ってください。



お願い

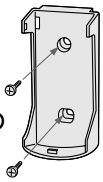
- リモコンと受信部との間にカーテンや壁などがあると信号が届きません。
- 受信部に強い光が当たると、エアコンが正しく動作しないことがあります。直射日光をさえぎり、また照明器具を受信部から離してください。
- リモコンは、直射日光や暖房器具などの熱の影響のない所へ置いてください。
- リモコンに強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。
- 電子式瞬時点灯方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。その場合は、販売店にご相談ください。
- リモコンの操作で他のエアコンや電気機器が作動したり、他のリモコンでエアコンが作動する場合は、販売店にご相談ください。
- ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は電池を交換しリセットボタンを押してください。

＊エアコンに近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

リモコンホルダーを利用するとき

- 柱や壁などにリモコンを取り付けておくことができます。
- リモコンホルダーに取り付けたままリモコン操作をすると、正しく受信しないことがあります。リモコンは必ずホルダーから取りはずし、受信部に向けて操作してください。

① リモコンホルダーを固定する

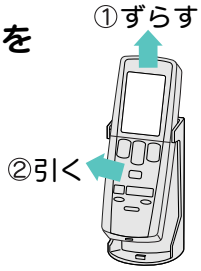


ネジ止め

② リモコンを取り付ける

① リモコン下面の穴にホルダーのツメを差し込む。
②「カチッ」と音がするまで押す。

③ リモコンを取り出す



自動・暖房・冷房・送風運転

お好みに合わせて運転できます。
自動運転で運転を開始したときは、運転の種類を正確に選ぶために、1分間ごく弱い風で送風を行います。
リモコンの運転切換・温度切換・風量切換の操作は、1回押すとそこだけ表示機能が働き、2回目のボタン操作から設定内容の変更が行われ、本体へ信号が送信されます（☞13ページ）。

運転の種類について

自動運転
そのときのお部屋の状況に合わせて、運転の種類（暖房・冷房・除湿）をエアコンが自動的に選択します。

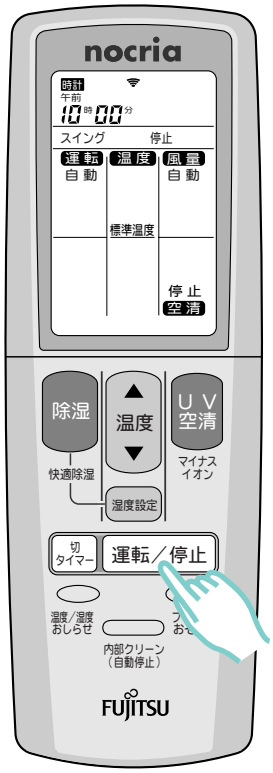
暖房運転
お部屋を暖めたいときにお使いください。
※室温より高い温度に設定しないと、暖房運転になりません。

冷房運転
お部屋を涼しくしたいときにお使いください。
※室温より低い温度に設定しないと、冷房運転になりません。

送風運転
お部屋の空気を循環させたいときや、風に当たりたいときなどにお使いください。

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

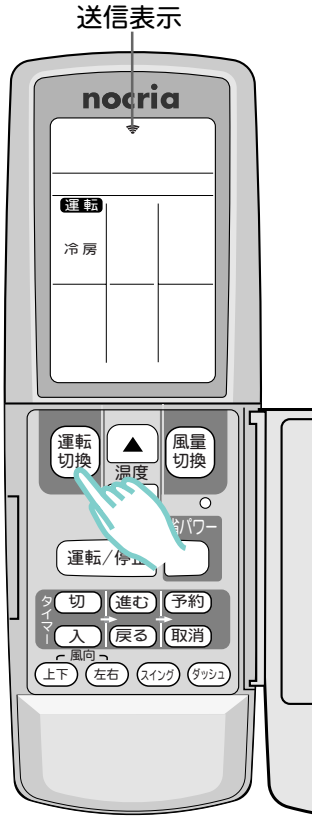


（例）「自動」になっている場合

2 フタを開けて運転切換ボタンで運転の種類を選ぶ

押すごとに切り換わります。
→自動→暖房→冷房→送風→

送信表示



（例）「冷房」を選んだ場合
＊送信表示が出て、約3秒後全体が表示されます。

自動運転について

運転開始したときの室温に合わせて次のように運転の種類と設定温度を自動的に選び運転を始めます。

室温	運転の種類	（標準温度）
30℃以上	冷房	27℃
27℃～30℃		26℃
24℃～27℃	除湿	23℃
22℃～24℃	監視運転	
22℃未満	暖房	23℃

- 監視運転になるとごく弱い風で送風運転し、室温が22℃未満に変化すると暖房運転に、24℃以上に変化すると除湿運転に自動的に切り換わります。
- 自動運転を停止した後、2時間以内に再度運転した場合は、停止前と同じ運転内容になります。
- 外気温度や室温により、自動的に設定温度を変化させ快適性を一定に保つことで暖まり不足やムダな暖めすぎ・冷やしすぎを防止します。

温度を変えたいとき

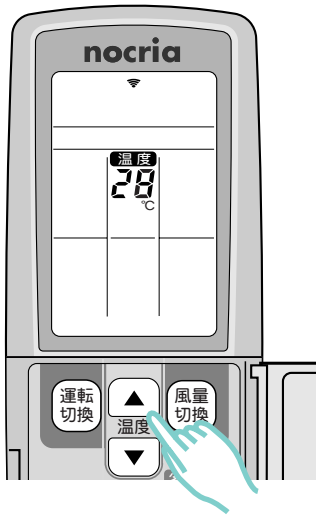
温度設定ボタンで温度を変える

▲ボタン…温度を上げるとき
▼ボタン…温度を下げるとき

温度設定の範囲

自動運転…「標準温度」に対し、
2℃高め、2℃低めの範囲
暖房時……16～30℃
冷房時……18～30℃

送風運転時に温度調節することはできません。



＊送信表示が出て、約3秒後全体が表示されます。

おすすめ温度

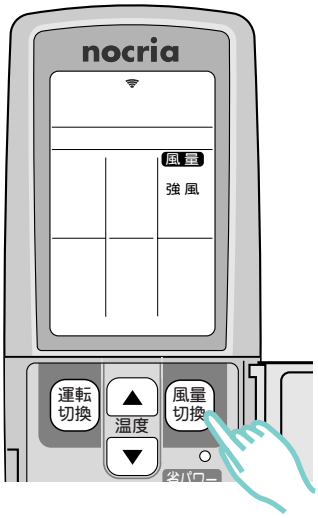
自動時…「標準温度」
暖房時…20～24℃
冷房時…26～28℃

風量を変えたいとき

風量切換ボタンで風量を選ぶ

押すごとに切り換わります。

→自動→強風→弱風→微風→静音→



＊送信表示が出て、約3秒後全体が表示されます。

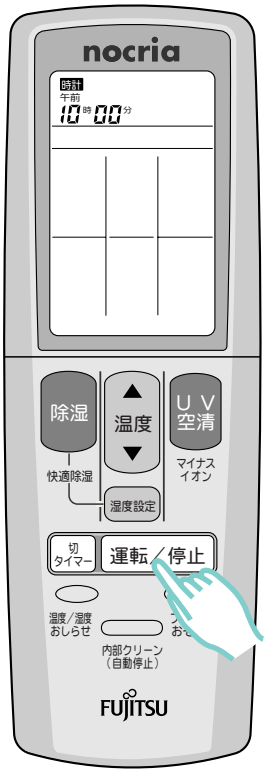
自動風量について

暖房時…運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が暖かくなるにつれて弱めの風で運転します。
冷房時…運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が涼しくなるにつれて弱めの風で運転します。
送風時…弱めの風で運転します。

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。



お知らせ

●暖房運転を開始してから約3～5分間はごく弱い風で運転し、その後設定風量になります。これは、室内ユニットの内部が暖まってから温風を吹き出すようにするためです。
●室外温度が低いときに暖房運転を行うと室外ユニットに霜が付いて暖房能力が低下するため、自動的に霜取り運転を行います。霜取り運転中は運転ランプ（赤）が点滅し、暖房運転を一時的に停止します（☞9ページ）。

除湿モード運転

用途に応じて、４つの除湿運転から選んで設定できます。
除湿モード運転を開始すると、1分間、室内の温度・湿度と外気温度をチェックします（監視運転）。このときごく弱い風で送風を行います。
リモコンの運転切換・除湿モード切換・温度切換・湿度切換の操作は、1回押すとそこだけ表示機能が働き、2回目のボタン操作から設定内容の変更が行われ、本体へ信号が送信されます（☞13 ページ）。

除湿運転の種類について

快適除湿モード
肌寒くならない快適な除湿運転を行います。
お好みの温度、湿度で除湿運転をしたい場合にお使いください。

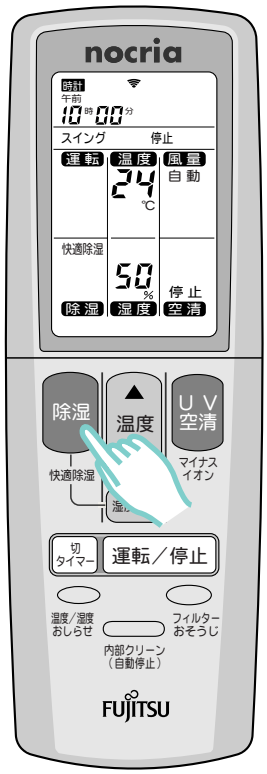
結露防止モード
冬の夜など、室内外の温度差を小さくし、窓の結露を抑える運転を行います。暖房運転停止直後にお使いください。

ランドリーモード
室温・湿度・風量を自動調節して、洗濯物がより早く乾くように、除湿優先の運転を行います。雨や雪により洗濯物を外に干せない場合にお使いください。

カビよけモード
お部屋の湿度を低く保ち、カビの成長を抑える運転を行います。梅雨時など、カビの成長が気になる時期に長期不在をされる場合にお使いください。

1 運転中または運転停止中に除湿ボタンを押す

運転停止中に押した場合は、本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。



（例）運転停止中に押した場合

2 除湿ボタンを押して、お好みの除湿モードを選択する

●除湿ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

快適除湿 → 結露防止 → ランドリー → カビよけ → 快適除湿

（例）ランドリーモードを選択した場合
＊送信表示が出て、約3秒後全体が表示されます。

快適除湿運転について

●室温より低い温度に設定した場合は、冷房で設定温度付近まで室温を下げた後に、除湿運転を行います。室温より高い温度に設定した場合は、暖房で設定温度付近まで室温を上げた後に、除湿運転を行います。
●室温制御は設定温度に対して±2℃の範囲で安定するように制御しています。このため、本体の温度モニターが設定温度とずれることがあります。
●お部屋の条件、外気の条件、在室人数によっては設定温度、設定湿度に到達しないことがあります。
●風量の変更はできません。
●湿度を上げる（加湿する）機能はありません。

結露防止運転について

●除湿優先の運転を行いますので、お部屋の温度が下がることがあります。
●結露防止運転は、2時間の切タイマー運転に自動設定されます。時間の変更を行いたい場合は、ワンタッチ切タイマーボタンで変更することができます（☞28 ページ）。
●すでに発生している結露を取り除くことはできません。
●温度・湿度の設定および風量の変更はできません。

お知らせ

- ●除湿モード運転時、室内ユニットから「シャー」「シュルシュル」といった水の流れるような音がすることがあります。これは内部の液（冷媒）が流れる音です。
- ●除湿モード運転時、室内ユニットから「カチッ」という音がすることがあります。これは、室内ユニット内部の除湿用電磁弁が動作した音です。
- ●除湿運転を始めたときや止めたときに除湿用電磁弁が切り換わる際、室外ユニットの運転が5分程度止まることがあります。これはエアコンが故障するのを防ぐためです。

快適除湿運転でお好みの温度・湿度に変えたいとき

温度を変えたいとき

温度設定ボタンで温度を変える

▲ボタン…温度を上げるとき
▼ボタン…温度を下げるとき

●18～30℃の範囲で設定できます。

（例）26℃に設定した場合
＊送信表示が出て、約３秒後全体が表示されます。

湿度を変えたいとき

湿度設定ボタンで湿度を変える

●湿度設定ボタンを押すごとに、40～65%の間で切り換わります。

50%→45%→40%
55%←60%←65%

（例）40%に設定した場合
＊送信表示が出て、約３秒後全体が表示されます。

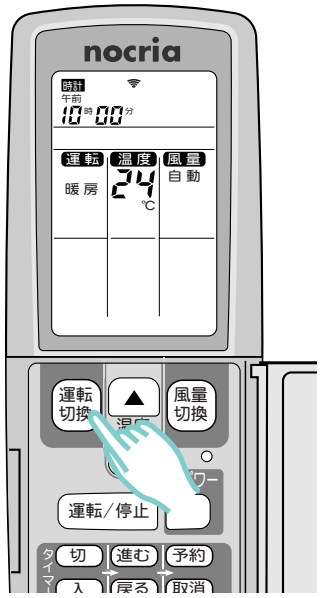
除湿モード運転をやめるとき

フタを開けて

運転切換ボタンを押して、通常の運転モードを選択する

●運転切換ボタンを押すごとに、次のように運転モードが切り換わります。

→自動→暖房→冷房→送風



（例）暖房を選択した場合

除湿モード運転を停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

ランドリー運転について

- ●室温・湿度・風量を自動調整して、洗濯物がより早く乾くように除湿優先の運転を行います。
- ●ランドリー運転は、3時間の切タイマー運転に自動設定されます（洗濯物が乾くまでの時間は、洗濯物の量などによって異なります）。時間の変更を行いたい場合は、ワンタッチ切タイマーボタンで変更することができます（☞28 ページ）。
- ●ランドリー運転は、洗濯物の乾燥を優先した運転を行うため、お部屋に人がいないときにお使いください。冬にランドリー運転を行うと室温が18～27℃となり、乾燥を早めるために冷たい風を吹き出すことがあります。夏にランドリー運転を行うと、室温が約18℃まで下がることがあります。
- ●温度・湿度の設定および風量の変更はできません。

カビよけ運転について

- ●カビよけ運転では、お部屋の湿度を低く保ち、カビの成長を抑える運転を行います。
- ●お部屋の湿度が目標湿度に到達すると、監視運転となり、湿度が高くなると運転を再開します。
- ●すでに発生しているカビを取り除くことはできません。
- ●温度・湿度の設定および風量の変更はできません。

UV 空気清浄・マイナスイオン運転

●UV（紫外線）によりお部屋の空気を除菌します。〔(財) 北里環境科学センター不活化効果確認試験〕
●空気清浄運転を行うと、からだにやさしいマイナスイオンをお部屋の中に広げます。
リモコンの UV 空気清浄ボタンの操作は、1回押すとそこだけ表示機能が働き、2回目のボタン操作から設定内容の変更が行われ、本体へ信号が送信されます（☞13 ページ）。

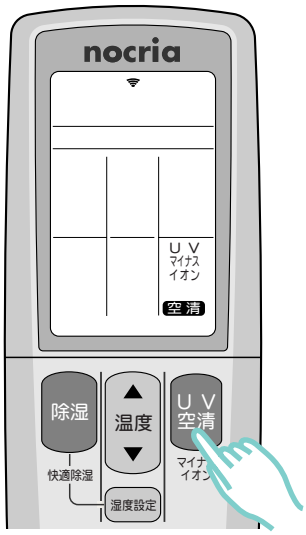
エアコン空清併用運転

エアコンと空清を運転するとき

エアコン運転中に
UV空気清浄ボタンを押す

本体表示部のUV空清・マイナスイオンランプ（青）が点灯します。

●エアコンと空清の併用運転となります。



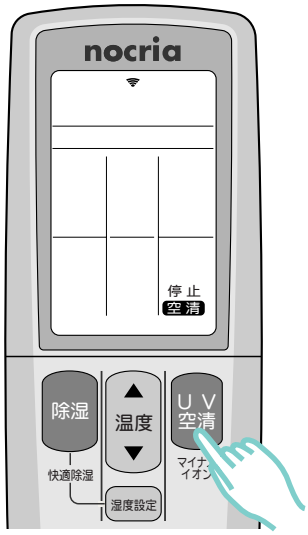
＊約3秒後、全体が表示されます。

空清運転のみ停止するとき

UV 空気清浄ボタンで
「空清停止」を選ぶ

本体表示部のUV空清・マイナスイオンランプ（青）、リモコンの空清表示が消えます。

●空清運転のみ停止します。
（エアコンは運転しています）



＊約3秒後、全体が表示されます。

エアコン運転も同時に停止するとき

運転 / 停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

●次回、運転 / 停止ボタンで運転を再開した場合は、エアコンと空清の併用運転となります。

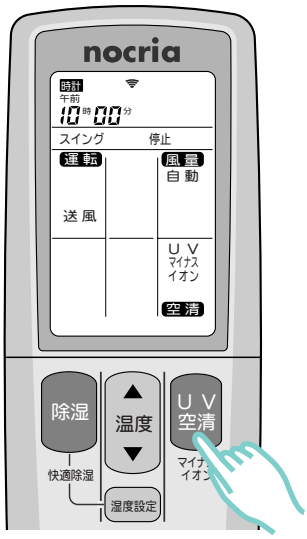
単独空清運転

空清のみの運転するとき

エアコン停止中に
UV空気清浄ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）とUV空清・マイナスイオンランプ（青）が点灯します。

●単独空清運転となります。



（例）「単独空清」になっている場合

空清運転を停止するとき

運転 / 停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

UV 空気清浄運転について

●UV 空清運転時、オゾンがわずかに発生し、ニオイを感じることがあります。
●UV 空清運転では、一酸化炭素やアルコールなどの各種のガスを取り除くことができません。酸素欠乏や窒息を防ぐため運転中はときどき換気を行ってください。
●風量切換ボタンで風量を切り換えることができます（☞17 ページ）。UV 空清運転は、風量が強風のとき最も効果が得られます。

マイナスイオン発生器について

●マイナスイオン発生器は、UV 空気清浄運転と連動しています。UV 空気清浄運転を行うとマイナスイオンが発生します。
●マイナスイオン発生器が汚れてくると、「ジー」という音がすることがあります。この場合は、マイナスイオン発生器のお手入れを行ってください。
（☞37 ページ）

UV 内部クリーン運転

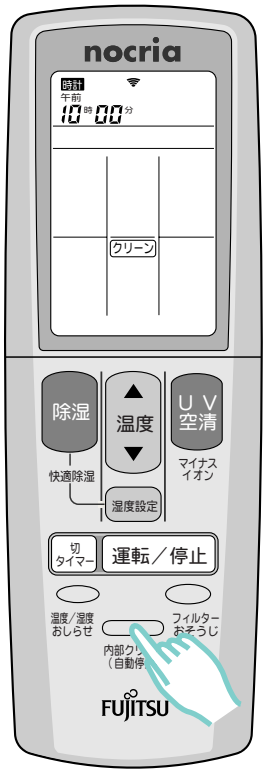
●リモコンの内部クリーンボタンを押すと、室内ユニットの内部を乾燥させ、その後UVランプから発生する低濃度のオゾンの働きで、室内ユニット内部のカビや雑菌の繁殖を抑えます。
●UV内部クリーン運転は、内部クリーンボタンを押してから約30分間行われ、その後自動的に運転が停止されます。

UV内部クリーン運転をするとき

エアコン運転中または停止中に、内部クリーンボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）のみが点灯します。

●リモコン表示部にクリーン表示が点灯し、約30分経過後消灯します。



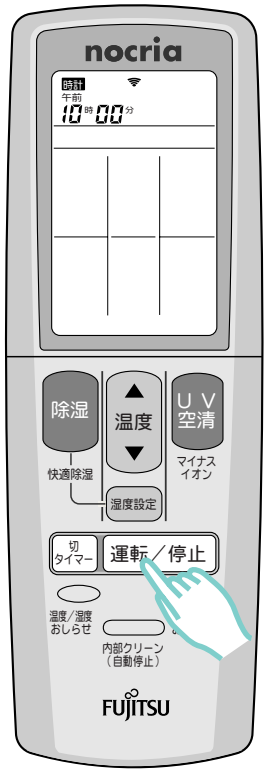
UV内部クリーン運転中に再度内部クリーンボタンを押すと、UV内部クリーン運転が再設定されます。

UV内部クリーン運転をやめるとき

クリーン運転中に運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消灯します。

●リモコンは、運転停止状態になります。



お知らせ

●UV内部クリーン運転の最初は、微弱暖房運転と送風運転による内部乾燥を行います。このとき室内の温度・湿度が若干上昇します。
●UV内部クリーン運転時、わずかにオゾン臭を感じることがあります。
●UV内部クリーン運転でお部屋の空気をきれいにすることはできません。
●UV内部クリーン運転を複数回行うと、効果はより上がります。

UV内部クリーン運転について

UV内部クリーン運転は、次のように動作し約30分後に自動的に運転を停止します。

①乾燥運転
UV内部クリーン運転開始より約１５分間、室内ユニット内部を乾燥させる運転を行います。

②オゾン運転（約15分間）
UVランプから低濃度のオゾンを発生させ、室内ユニット内部のカビや雑菌の繁殖を抑えます。

③運転停止
運転は終了です。

風向調節

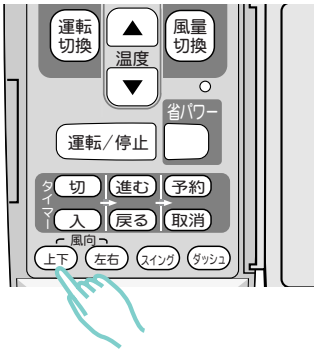
●上下・左右風向調節は、リモコンの風向調節ボタンで行います。
●操作は、運転を開始し風向板が停止してから行ってください。

上下風向の調節をするとき

フタを開けて

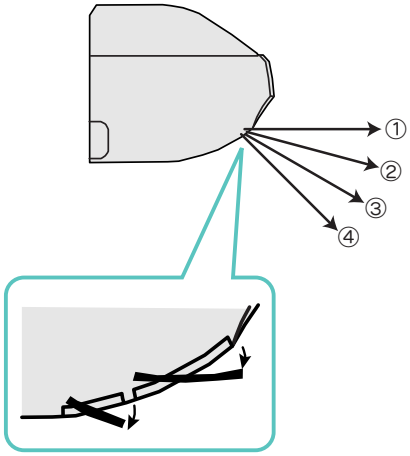
上下風向ボタンを押す

●上下風向ボタンを押すと右図の範囲で上下風向位置が切り換わります。
●お好みの方向に変更することができます。

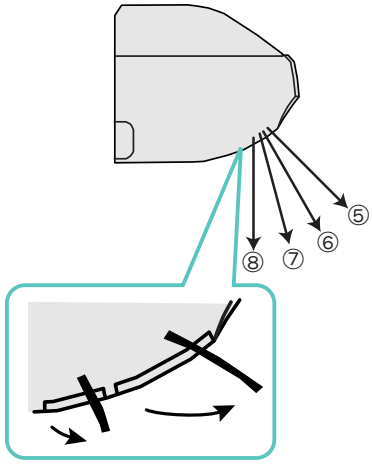


＊リモコン表示部は変わりません。

冷房の範囲①②③④



暖房の範囲⑤⑥⑦⑧



＊上下風向板は、閉じた状態より矢印の方向に動作します。
●暖房・冷房効果を高めるため、上図の範囲でお使いください。

除湿・送風の範囲①②③④⑤⑥⑦⑧
＊除湿モード運転時は、除湿効果を高めるため、上下風向板を自動調整することがあります。

左右風向の調節をするとき

フタを開けて

左右風向ボタンを押す

●左右風向ボタンを押すと次のように左右風向位置が切り換わります。

→正面吹き → 右吹き →正面吹き → 左吹き

●お好みの方向に変更することができます。
●使い始め（電源投入時）は正面吹きに設定されます。

＊リモコン表示部は変わりません。

風向調節について

●上下風向板は、使い始めや、運転モードを変更すると、暖房や冷房など運転の種類に合わせて、次のように自動設定されます。
冷房・除湿・送風：①（水平）
暖房・除湿：⑦（斜め下吹）

除湿モード運転時は、外気温や室温により①（水平）か⑦（斜め下吹）のどちらかに自動設定されます。これは、除湿効果を高めるためです。

●ダッシュ運転時（☞25 ページ）は、冷・暖房能力を最大限に引き出すために上下風向が自動設定されます。
●リモコンの風向調節ボタンを押して、上下または左右風向板が希望の位置となるまでに多少の時間がかかります。その間、風向調節ボタンを押しても風向調節はできません。
●自動運転の監視運転（☞16 ページ）中は水平吹き①となり、風向の調節はできません。
●上下スイング（☞23ページ）動作中に上下風向ボタンを押すと上下スイングは停止します。また、左右スイング動作中に左右風向ボタンを押すと左右スイングは停止します。

お願い

●上下・左右風向板は、必ずリモコンの風向ボタンで操作してください。手で無理に動かすと、正しく動かなくなることがあります。そのときは、いったん運転を停止すると、その後正常に戻ります。

⚠注意

吹出口の奥に指や棒を入れないでください。
●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

スイング風向

●お部屋のすみずみまで冷風や温風を送りたいときなどにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

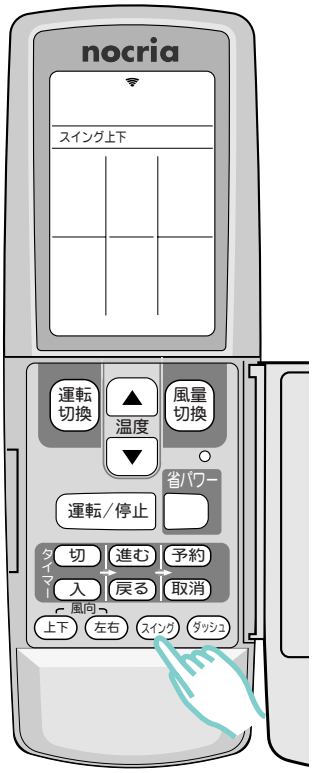
スイング風向をするとき

フタを開けて

スイングボタンを押して、お好みのスイングモードを選択する

●ボタンを押すごとに次のようにスイングモードが切り換わります（リモコンに表示されます）。

→スイング上下 → スイング左右
スイング停止 ← スイング上下左右 ←

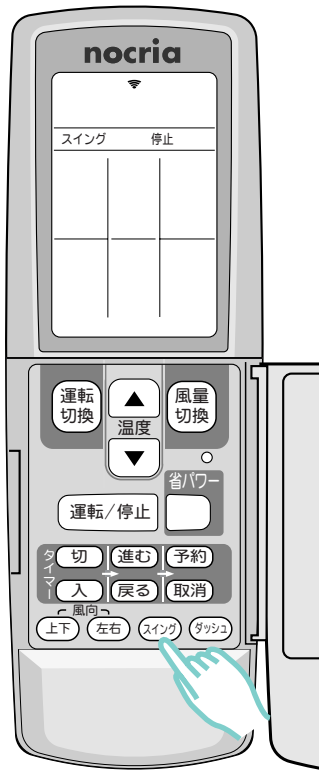


＊約3秒後、全体が表示されます。

スイング風向をやめるとき

スイングボタンを押して、「スイング停止」を選択する

●スイング設定前の風向に戻ります。

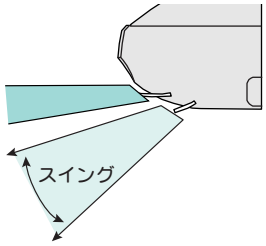


「スイング停止」表示は、約３秒後に消えます。

スイング風向について

●上下スイング：現在の風向位置（☞22 ページ）により、次の範囲で上下にスイングします。
風向位置が①～④の場合（冷房の場合など）
上側の風向板を水平としたまま、下側の風向板をスイングさせ、より広範囲に風を送ります。
風向位置が⑤～⑧の場合（暖房の場合など）
斜め下吹と下吹でスイングさせ、足元を中心に風を送ります。
●左右スイング：左右方向にスイングします。
●上下左右スイング：上下スイングと左右スイングを組み合わせてスイングします。

（例）冷房時のスイング



お知らせ

●エアコンから風が出ていないときや、ごく弱い風で運転しているときには、スイングが一時的に止まることがあります。
●上下スイング動作中に上下風向ボタンを押す、または左右スイング動作中に左右風向ボタンを押すと、それぞれのスイングは解除されます。
●除湿モード運転時は、除湿効果を高めるために外気温や室温により①⇔④か、⑤⇔⑧のどちらかのスイングを行います。

省パワー運転

●エアコンのパワーをパワフル・ソフトの２段階に切り換えることができます。
●ソフト運転は１時間あたりの電気代を低く抑えた運転を行います。電気代節約にお役立てください。

ソフト運転にするとき

エアコン運転中に
フタを開けて、省パワーボタンを押す

リモコン表示部に省パワー表示が点灯します。

●ソフト運転になります。

（例）「ソフト」を選んだ場合
＊約３秒後、全体が表示されます。

パワフル運転に戻すとき

もう一度、省パワーボタンを押す

リモコン表示部の省パワー表示が消えます。

●通常の運転に戻ります。

省パワー運転について

●パワフル（通常運転）
パワフルな運転を行います。
通常はこの設定でお使いください。
●ソフト
冷房時は１時間あたり約 10 円、暖房時は１時間あたり約 20 円以下で運転を行います。（冷・暖房能力はパワフル時の約 70%になります）
＊冷房運転時にソフト運転を行うと、除湿効果を高めた運転を行います。梅雨どきなど、室温をあまり下げずに湿気を取り除きたいときに便利です。

＊ソフト運転では、ムダな暖めすぎや冷やしすぎのないよう、外気温度などにより設定温度を自動的に変化させる経済的な運転を行います。

●ソフト運転でよく暖まらない（よく冷えない）場合には、パワフル運転でお使いください。
●いったん運転を停止し、再度運転を開始した場合は、パワフル運転となります。
●自動運転における監視運転中は、省パワーボタンでソフト運転にしても運転状態は変化しません。

ダッシュ運転

●夏のお風呂あがりや冬の帰宅時など、素早く冷やしたり暖めたいときにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

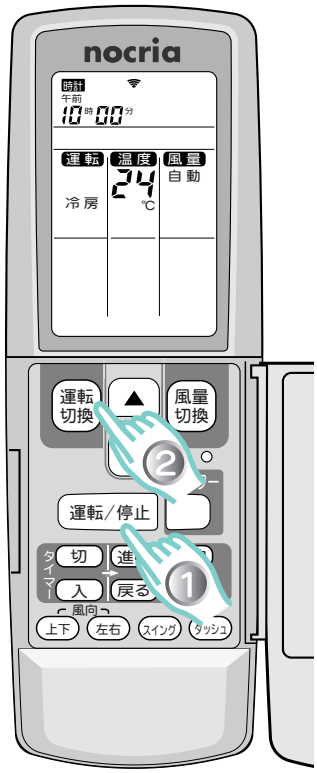
ダッシュ運転をするとき

1 自動・暖房・冷房・送風のいずれかで運転を開始する。

16～17ページに従って、運転を開始してください。

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（すでに運転しているときは、そのまま2へ）

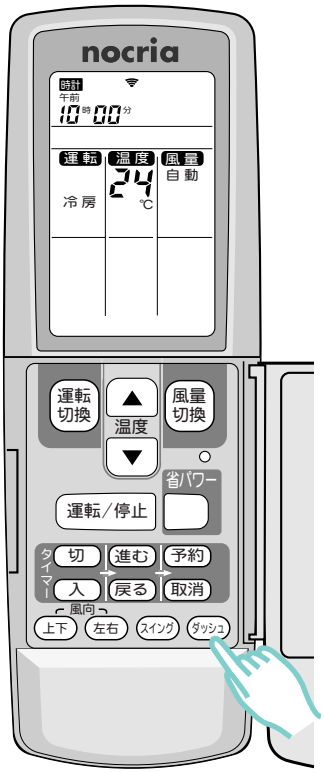


（例）「冷房」になっている場合
＊除湿モード運転時にダッシュ運転はできません。

2 フタを開けてダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（橙）が点灯します。

●ダッシュ運転になります。



＊リモコン表示部は変わりません。

ダッシュ運転をやめるとき

もう一度、ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（橙）が消えます。

●通常の運転に戻ります。

ただし、以下の状態になった場合はダッシュ運転を自動的に解除します。

- **暖房運転時**
  室温が設定温度より2℃高くなった場合
- **冷房運転時**
  室温が設定温度より1℃低くなった場合、またはダッシュ運転を設定してから30分間経過した場合
- **送風運転時**
  ダッシュ運転を設定してから15分間経過した場合

ダッシュ運転について

暖房の場合

●最大パワーになり、設定温度＋2℃までお部屋を一気に暖めます。

冷房の場合

●風量のパワーが最大になり、設定温度-1℃までお部屋を一気に冷やします。

送風の場合

●室内ユニットの風量をアップします。

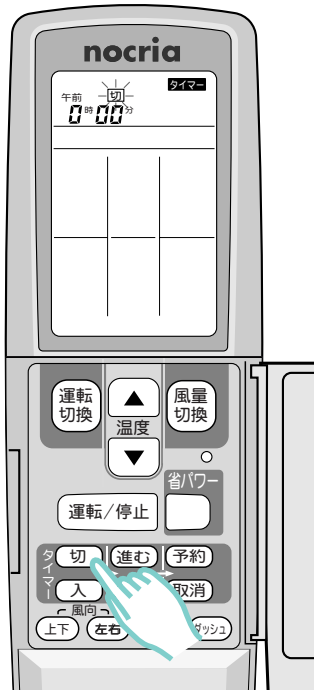
●ダッシュ運転中の風向と風量は自動設定されます。風向がお好みに合わないときは、風向調節ボタンで変更することができます（☞22ページ）。
●除湿モード運転（☞18ページ）時は、ダッシュ運転を設定することはできません。
●リモコン表示部に省パワー表示（☞24ページ）が点灯していても、ダッシュが優先されます。
●自動運転における監視運転中は、ダッシュボタンを押しても運転状態は変化しません。

切タイマー・入タイマー

切タイマー…設定した時刻に、エアコンの運転を停止します。
入タイマー…設定した時刻に、エアコンの運転を開始します。
●操作は、エアコンの運転を開始した後に行ってください。
●操作は、現在時刻が合っていることを確認したうえで行ってください。

1 フタを開けて 設定したいタイマーボタンを押す（「切」または「入」）

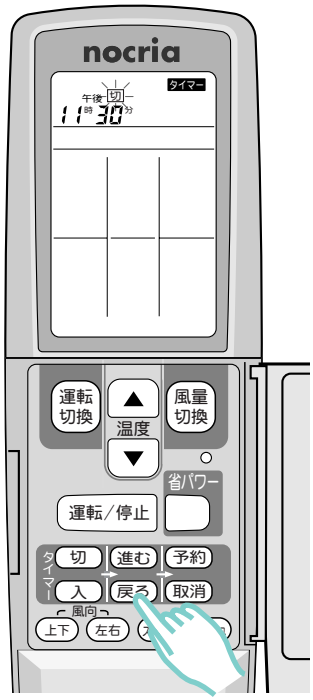
タイマー表示部の 切 または 入 マークが点滅します。現在時間表示（時計）は消えます。



（例）切タイマーを選択した場合

2 「進む」「戻る」ボタンを押して、ご希望のタイマー時刻に設定する

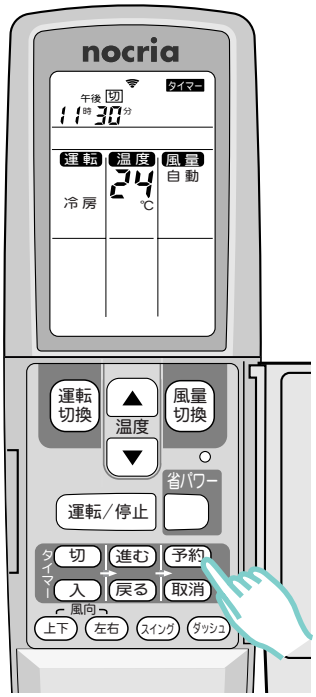
時刻表示部が操作に応じて変更されます。



「切↔入」が表示されているときは、切タイマーまたは入タイマーではありません。

3 リモコンを本体に向けて「予約」ボタンを押す

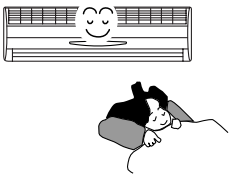
切 または 入 マークの点滅が止まり、信号が発信されます。
本体のタイマーランプ（緑）が点灯します。入タイマーの場合は、エアコンの運転が停止します。



（例）午後 11 時 30 分に設定した場合

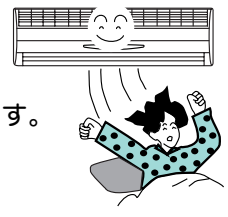
切タイマーについて

●設定した時刻になると運転を停止します。
●おやすみになるときなどにお使いください。



入タイマーについて

●設定した時刻にお部屋が快適な温度になるように、設定した時刻より早めに運転を開始します。
●お目覚めになるときなどにお使いください。
●夏は暑いほど、冬は寒いほど早めに運転を開始します。
「暖房」のときは……45～10 分前
「冷房」のときは……20～10 分前
「送風」・「除湿モード」のときは…設定した時刻



タイマー時刻を変更するとき

1・2・3 の操作を行う
●受信音が鳴り、タイマー時刻が変更されます。

タイマーを取り消すとき

リモコンのフタを開けて、取消ボタンを押す
●現在時刻表示（「時計」）に戻り、本体に信号が発信されます。

タイマー動作中に運転を停止するとき

運転 ／ 停止ボタンを押す

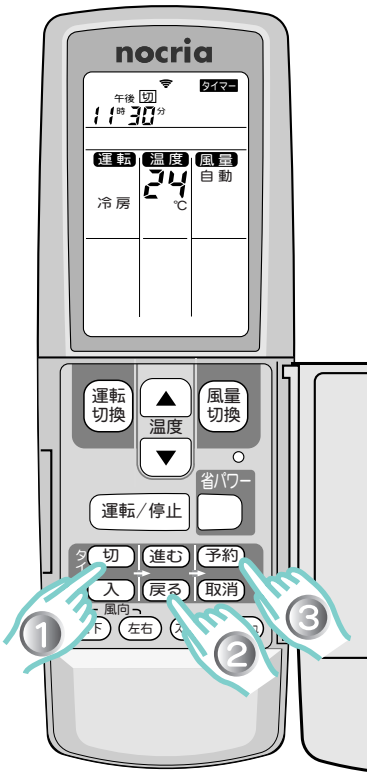
切・入プログラムタイマー

「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転をするときに設定します。(24 時間以内の設定)
(例えば切タイマーを午後 11 時 30 分、入タイマーを午前 5 時 30 分に設定する場合)
●操作は、エアコンの運転を開始した後に行ってください。
●操作は、現在時刻が合っていることを確認したうえで行ってください。

1 フタを開けて「切タイマー」を予約する

26ページの1〜3の操作を行い、切タイマーを予約してください。

本体のタイマーランプ(緑)が点灯します。



2 続けて「入タイマー」を予約する

26ページの1〜3の操作を行い、入タイマーを予約してください。

プログラムタイマーがセットされ、信号が発信されます。

本体のタイマーランプ(緑)は点灯したままです。

タイマー時刻を変更するとき

①変更したい方のボタン(「入」または「切」ボタン)を押す

●変更したい方のタイマー表示(入または切)のみ点滅します。

②「進む」「戻る」ボタンで時刻を選択する

③リモコンを本体に向けて「予約」ボタンを押す

●タイマー表示(入または切)の点滅が止まり、信号が発信されます。

タイマーを取り消すとき

■切・入プログラムタイマーを取り消すとき

①リモコンを本体に向けて「取消」ボタンを押す

本体のタイマーランプ(緑)は消灯します。

●入・切タイマーが同時に取り消され、現在時刻表示(時計)に戻ります。

■切・入タイマーのどちらか一方だけ取り消すとき

①取り消したい方のタイマーボタン(「入」または「切」ボタン)を押す

●取り消したい方のタイマー表示(切または入)が点滅します。

②リモコンを本体に向けて「取消」ボタンを押す

本体のタイマーランプ(緑)は点灯のままです。

●一方のタイマーのみ取り消されます。

プログラムタイマーについて

●「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転を1回だけ行います(切→入または入→切のどちらかを1回)。
●「切タイマー」と「入タイマー」の設定時刻のうち、現在時刻に近いタイマーから先に動作します。動作する順序は、リモコン表示部に矢印で表示されます(切→入または切←入)。
●「ワンタッチ切タイマー」(☞28ページ)と「切タイマー」「入タイマー」を組み合わせることはできません。
●現在時刻から 24 時間を超えた時刻でのプログラムタイマー設定はできません。

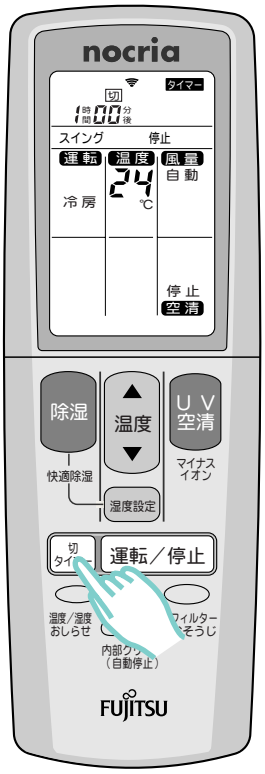
ワンタッチ切タイマー

●エアコンが運転中、停止中に関わらず、このボタンを押すとワンタッチで切タイマーに設定することができます。
●ワンタッチ切タイマーの動作時間は、現在からの経過時間（例えば１時間後）により設定されます。

ワンタッチ切タイマー運転のしかた

リモコンを本体に向けて ワンタッチ切タイマーボタンを押す

本体表示部のタイマーランプ（緑）が点灯します。

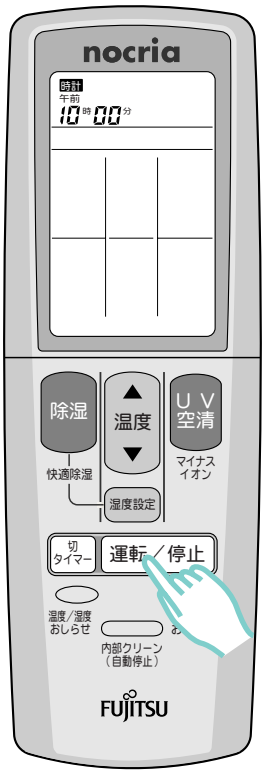


（例）運転停止中にワンタッチ切タイマーボタンを押したとき

タイマー動作中に運転を停止するとき

リモコンを本体に向けて 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。



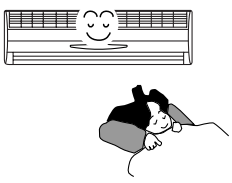
タイマー時間の変更とタイマー取消のしかた

ワンタッチ切タイマーボタンを押すごとに、タイマーの設定時間が切り換わります。

1時間00分後 → 2時間00分後 → 3時間00分後 → 5時間00分後
タイマー取消（現在時刻表示に戻ります） ← 9時間00分後 ← 7時間00分後

ワンタッチ切タイマーについて

●タイマー動作後のリモコンの時間表示は、５分ごとの残時間表示を行います。
●扉内の時刻タイマー（☞26～27ページ）と組み合わせることはできません。

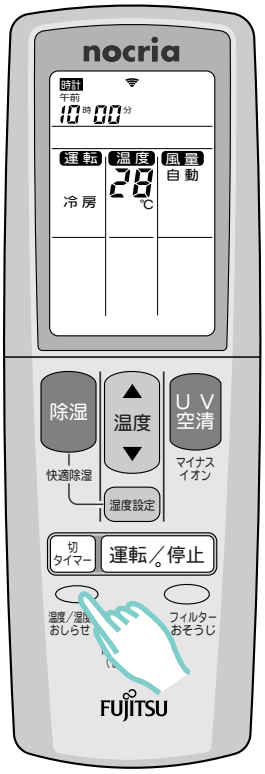


温度・湿度モニター

●室内の温度・湿度と屋外の温度が表示できます。運転の種類や温度設定の目安としてください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

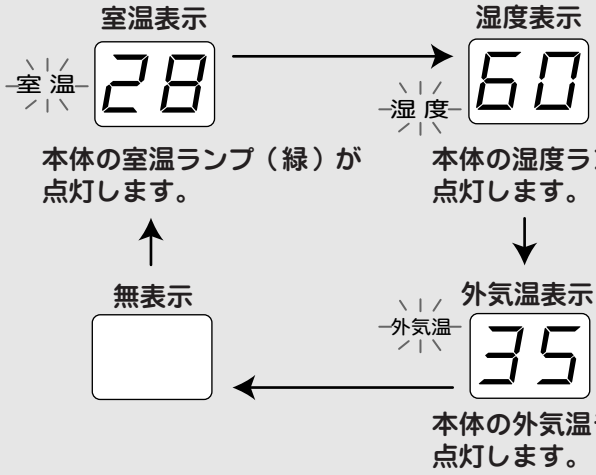
本体の温度・湿度モニターを切り換えるとき

運転中に、温度／湿度おしらせボタンを押す



＊リモコン表示部は変わりません。

●温度／湿度おしらせボタンを押すごとに、本体表示部の温度・湿度モニターが次のように切り換わります（湿度表示と外気温表示は、順序が入れ替わる場合があります）。



●電源プラグ差し込み後の最初の運転開始時は、室温表示となります。お好みにより、室温・湿度・外気温のいずれかを表示させてください。
●湿度表示または外気温表示を選んだ場合は、10秒間その表示を行なった後、室温表示に戻ります（湿度ランプまたは外気温ランプは消灯します）。
●温度・湿度モニターを消しておきたいときは、温度／湿度おしらせボタンで無表示を選んでください。UV空気清浄運転（☞20ページ）を行っている場合は、UV空清・マイナスイオンランプ（青）も消灯します。就寝時など表示がまぶしく感じるときにお使いください。

温度・湿度モニターについて

●表示される温度は、室内・室外ユニットの吸込空気温度です。湿度は室内ユニットの吸込空気の湿度です。従って、室内・室外ユニットの据付け状態や運転状態などにより、実際の気温や湿度と異なる場合があります。目安としてお使いください。
●暖房または冷房運転開始から約1時間は、スタートダッシュ機能（☞9ページ）が動作しているために室温表示がリモコンの設定温度より暖房時は高め、冷房時は低めに表示されます。
●運転中の外気温度は、室外ユニットから吹き出す風や熱交換器の温度の影響により、冷房・除湿時は実際の気温よりも高めに、暖房時は低めに表示することがあります（特に室外ユニットの据付けスペースが狭い場合、実際の温度との温度差が大きくなります）。
●運転開始から1分間は、温度・湿度検出を行っているため、表示はできません。この場合、--と表示されます。
●表示できる温度は、室内・外とも -9℃～45℃です。温度が -9℃未満の場合は-9、45℃を超える場合は45と表示します。
●表示できる湿度は、30～75%です。湿度が30%未満の場合は30、湿度が75%以上の場合は75と表示します。
●入タイマー中（☞26ページ）など、エアコンが運転停止状態である場合は、温度／湿度おしらせボタンを押しても、温度は表示されません（信号を受け付けません）。
●自動霜取り運転（☞9ページ）直後は、室内ユニット周囲の温度が低下し安定しないため、室温表示が変化することがあります。

フィルターオートクリーン機能

●エアコンの運転時間によって、自動的にエアフィルターのホコリを取り除く便利な機能です。
●リモコン操作でフィルターオートクリーンを動作させることもできます。

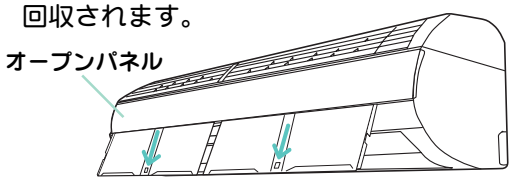
フィルターオートクリーン動作

フィルターオートクリーン動作について

●一定時間エアコンを運転して運転を停止したとき、またはリモコンのフィルターおそうじボタンを押したときに動作します。
●フィルターオートクリーン動作中は、本体表示部のお手入れランプ（緑）が点灯します。

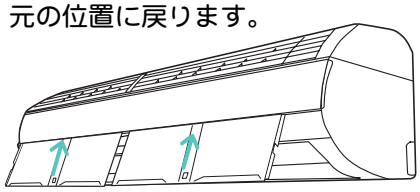
① エアフィルターの下降

●エアフィルターが自動的に下降し、オープンパネルの下側から外に出てきます。このとき、エアフィルターに付着したホコリはダストボックス（オープンパネルの内側）に回収されます。



② エアフィルターの上昇

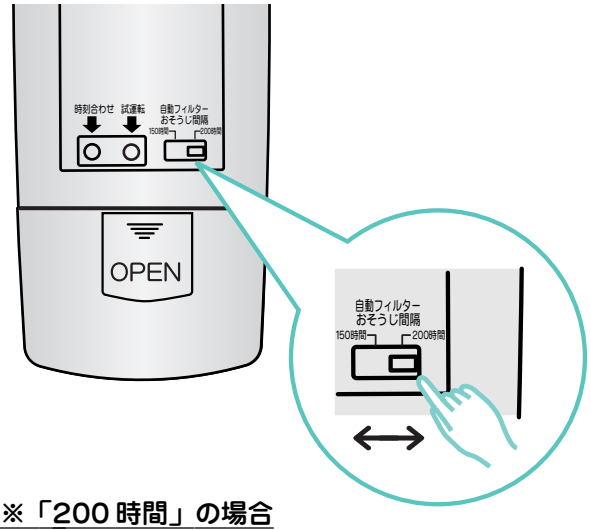
●エアフィルターの下降終了後、自動的に上昇し、元の位置に戻ります。



●フィルターオートクリーン動作が終了すると、お手入れランプ（緑）が消灯します。

フィルターおそうじ間隔切換スイッチの操作

●リモコン裏面のフィルターおそうじ間隔切換スイッチでフィルターオートクリーンが動作するまでの運転時間を「200 時間」と「150 時間」の 2 段階に切り換えることができます。



※「200 時間」の場合
エアコン運転時間が約200時間でフィルターオートクリーンが動作します。通常はこの設定でお使いください。

※「150 時間」の場合
エアコン運転時間が約 150 時間でフィルターオートクリーンが動作します。こまめにフィルターオートクリーンを動作させたいときなどにお使いください。

⚠注意

フィルターオートクリーン動作中は、絶対にエアフィルターに触れないでください。

●エアフィルターを手で引っ張ったり、押し上げたりすると故障する恐れがあります。
●エアフィルターを無理に手で引っ張るとエアフィルターの破損や、転倒などによるケガの原因となることがあります。

フィルターオートクリーン機能について

●エアフィルターの汚れ具合によっては、フィルターオートクリーン機能を1回動作させても完全にホコリを取ることができない場合があります。このときは、再度フィルターオートクリーンを動作させてください。
●フィルターオートクリーン機能を複数回行ってもエアフィルターにホコリが残ってしまう場合は、ダストボックスのお手入れを行ってください（☞32 ページ）。
●油を多く含んだり固くなったホコリなど、ホコリの状態によってはフィルターオートクリーン機能で取りきれない場合があります。この場合は、エアフィルターを取り出して水洗いしてください（☞35 ページ）。
●フィルターオートクリーンを動作させたときに、「カタカタ」「ピシッ」などという音がすることがあります。
●フィルターオートクリーン動作時にエアフィルターを引っ張ったり、押し上げたりすると、エアフィルターの動作が停止し、お手入れランプ（緑）が点滅することがあります。このときはダストボックスのお手入れ1・4（☞32・34 ページ）の手順に従ってエアフィルターを取り付け直してください。
●エアフィルターが下側にズレた状態で取り付けたときに、自動でエアフィルターが上昇することがあります。
●室内ユニットのすぐ下に家具など障害物があると、エアフィルターの下降時に当たり、正常な動作ができないことがあります。

リモコンでフィルターオートクリーンを動作させるとき

エアコン運転中または停止中に、フィルターおそうじボタンを押す

●本体表示部のお手入れランプ（緑）が点灯します。

＊リモコン表示部は変わりません。

●フィルターオートクリーンが動作します。
●エアコン運転中にフィルターおそうじボタンを押した場合は、エアコンの運転を一時中断してフィルターオートクリーンが動作し、フィルターオートクリーン動作が終了した時点で運転を再開します。
●エアフィルター動作中にフィルターおそうじボタンを押しても、フィルターオートクリーンを停止することはできません。

お手入れランプの点灯・点滅について

お手入れランプ（緑）の点灯

フィルターオートクリーンが動作しているときに点灯します。

お手入れランプ（緑）の点滅（約２秒に１回）

フィルターオートクリーン動作時に、エアフィルターが入っていなかったり、途中で引っ掛かったりしたことをお知らせしています。このときは、エアコン運転中の場合は運転を停止して電源プラグを抜き、ダストボックスのお手入れ1・4（☞32・34ページ）の手順に従ってエアフィルターを取り付け直してください。

お手入れランプ（赤）の点灯

ダストボックスの清掃時期をお知らせしています。このときは、ダストボックスの清掃をしてください。（☞32ページ）

ダストボックス清掃お知らせ機能について

●本体表示部のお手入れランプ（赤）を点灯させて、ダストボックスの清掃をお知らせする機能です。このときはダストボックスの清掃をしてください（☞32ページ）。
●エアコンの運転時間が約2000時間経過すると、お手入れランプ（赤）が点灯します。
●お手入れランプ（赤）が点灯中は、フィルターオートクリーンは動作しません（リモコンのフィルターおそうじボタンを押しても動作しません）。このときは、ダストボックスの清掃を行い、お手入れ終了ボタン（☞34ページ）を押してください（お手入れランプ（赤）が消灯します）。
●お手入れランプ（赤）は、エアコンの運転、停止によらず常に点灯します。
●ダストボックスの清掃をしないで、お手入れランプ（赤）を消灯すると次回フィルターオートクリーンが動作したときにホコリが外に飛び出すことがあります。お手入れランプ（赤）が点灯したら必ずダストボックスの清掃をしてください。

お手入れのしかた

●こまめなお手入れがエアコンを長持ちさせ、冷・暖房効果を高めます。
●お手入れの前には、必ずリモコンで運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

掃除をするときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

掃除の際、不安定な台に乗らないでください。
●転倒などによるケガの原因となることがあります。

ダストボックスを取りはずしたときに内部の金属部（熱交換器）に触らないでください。
●ケガの原因となることがあります。

掃除のときなど、ダストボックスの取付けは確実に
●取付けに不備があると、ダストボックスの落下によるケガの原因となることがあります。

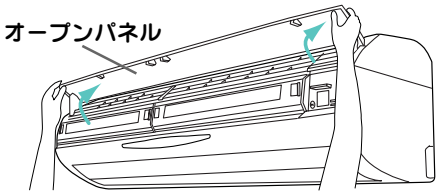
ダストボックスのお手入れ

●本体表示部のお手入れランプ（赤）が点灯した場合は、必ずダストボックスのお手入れをしてください。ホコリが多いお部屋でエアコンをご使用の場合、お手入れランプ（赤）が点灯していなくても、3ヵ月ごとを目安にこまめにお手入れをしてください。
●ダストボックスのお手入れをするときにホコリが落下することがあるので、下に新聞紙などを敷いてお手入れを行ってください。

1 ダストボックス・エアフィルターを本体から取りはずす。ダストボックスからエアフィルターを引き抜く。

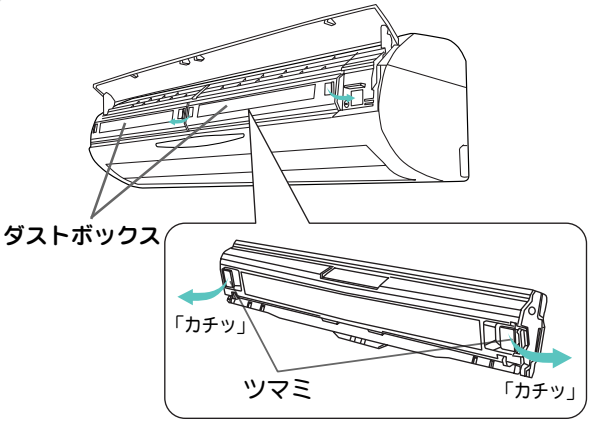
準備
●リモコンで運転を停止する。
●電源プラグを抜く。

① オープンパネルを開ける



オープンパネルの下部両端に手を掛けて手前に引き、途中の引っかかるところよりも上方へ大きく開ける（手を離してもパネルは開いたままとなります）。

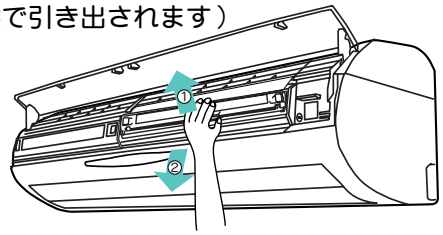
② ダストボックスのツマミを起こす



ダストボックス（左右2個）両端のツマミ（黄色）を手前に起こす。

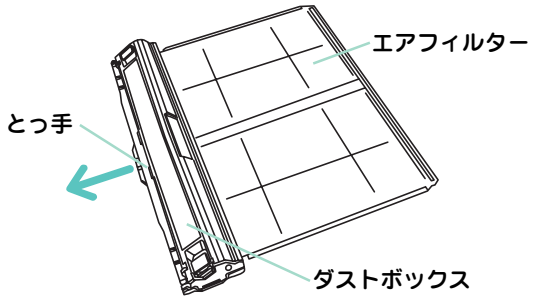
③ ダストボックスとエアフィルターを取りはずす

ダストボックス中央部を持ち、下側を①の方向に持ち上げ、②の方向に引き出す。
（ダストボックスにエアフィルターがはさまれた状態で引き出されます）



④ エアフィルターをダストボックスから引き抜く

エアフィルターのとっ手を持ち、ダストボックスから矢印の方向に引き抜く。



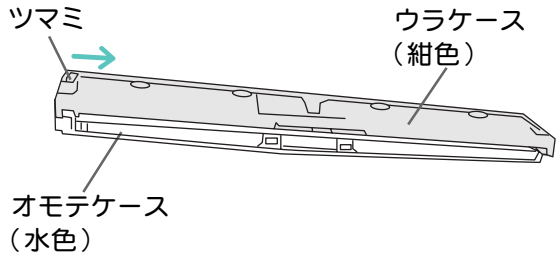
●エアフィルターを引き抜いたときにダストボックスにたまったホコリが落下することがあります。下に紙などを敷いて作業を行ってください。

2 ダストボックスにたまったホコリを捨て、お手入れする。

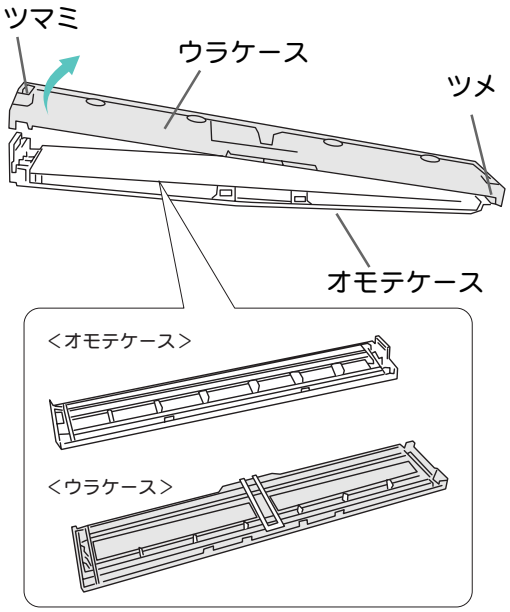
① ダストボックスを開ける

●ダストボックスを開けるときは、必ずウラケースを上にして開けてください。オモテケースを上にして開けると、ダストボックスにたまったホコリが大量に落下することがあります。

①ウラケースを上にして端部にあるツマミを矢印の方向に引く（ケースに刻印があります）。

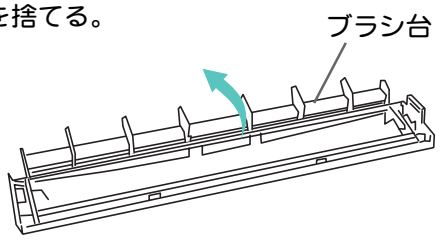


②ツマミを引きながらウラケースのツマミ側を上に引き上げて、反対側のツメをはずして開ける。

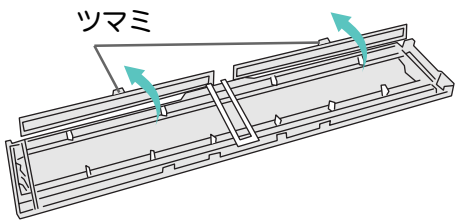


② ケース内のブラシ台を開け、ホコリを捨てる

<オモテケース（水色）>
ブラシ台を持って上に開き、内部にたまったホコリを捨てる。



<ウラケース（紺色）>
ケース内のブラシ台のツマミ（2ヵ所）を持って上に開き、内部にたまったホコリを捨てる。

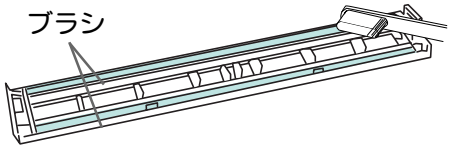


●ブラシ台を無理に開かないでください。破損や故障の原因となることがあります。

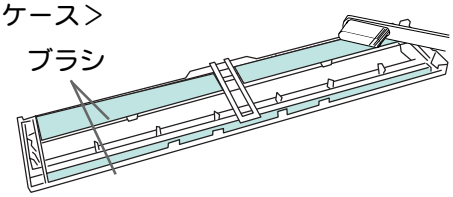
③ ケース内部を清掃する

上に開いたブラシ台を元に戻し、ブラシに付いたホコリを掃除機で吸い取るか、歯ブラシ等でこすって取り除く。

<オモテケース>



<ウラケース>



④ ケースの汚れがはげしいときは水洗いする

①40 ～ 45℃のお湯でブラシ部を軽くこする。汚れのひどいときは、洗濯用合成洗剤（中性または弱アルカリ性）をつけて軽くこする。
②ケースをスポンジで軽くこする。
③流水ですすぐ
④ダストボックスの水を切る。
⑤タオル等でケース・ブラシを拭き、日陰で十分に乾かす。

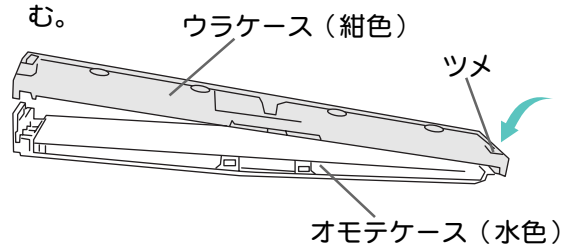
●洗濯用合成洗剤（中性または弱アルカリ性）以外は使用しないでください。
● 60℃以上のお湯は絶対に使用しないでください。
●たわしなど固いものでこすらないでください。
●ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。熱による変形やブラシ部がはがれる恐れがあります。
●水洗い後は完全に乾いてから取り付けてください。特にブラシ部は乾きにくいので、タオルなどで拭いて完全に乾いたことを確認してください。濡れたまま取り付けてフィルターオートクリーンを動作させると、フィルターのホコリが取れないことがあります。

お手入れのしかた（つづき）

3 ダストボックスを組み、エアフィルターを差し込む。

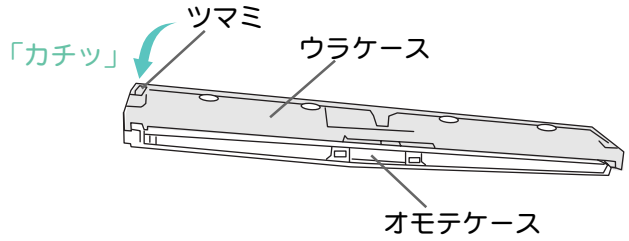
① ダストボックスを組む

①オモテケースを下にして、ウラケースのツマミの反対側のツメをオモテケースの穴にはめ込む。



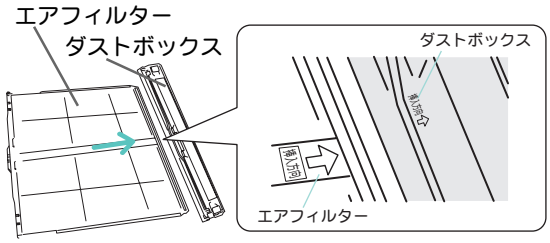
●オモテケースとウラケースを組むときは、それぞれのブラシ台が中に収まっていることを確認してください。

②ウラケースのツマミ側をオモテケースに重ねるようにしてはめ込む。



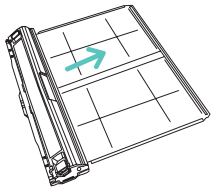
② ダストボックスにエアフィルターを差し込む

①ダストボックスとエアフィルターに記載の挿入方向を合わせ、エアフィルターとダストボックスのオモテケースとウラケースの間に差し込む。



●エアフィルターを差し込むときは、表裏や挿入方向を確認し、正しく行ってください。誤った取り付けをすると故障の原因となることがあります。
●エアフィルターを差し込むときに、ダストボックスの上下を押さえるとエアフィルターが入りにくいことがあります。

②エアフィルターを止まるところまで差し込む。

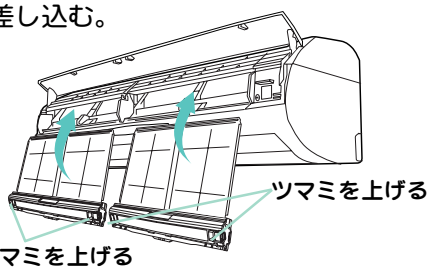


4 本体にダストボックス・エアフィルターを取り付け、お手入れ終了ボタンを押す。

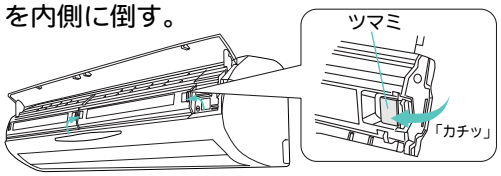
① 本体にダストボックス・エアフィルターを取り付ける

●ダストボックスを取り付けるときは、黄色のツマミ（2ヵ所）が上がっていることを確認してください。ツマミが下がった状態でダストボックスを取り付けると故障の原因となることがあります。

①オープンパネルを開けて、エアフィルターのとっ手を押さえながら本体の奥に止まるところまで差し込む。



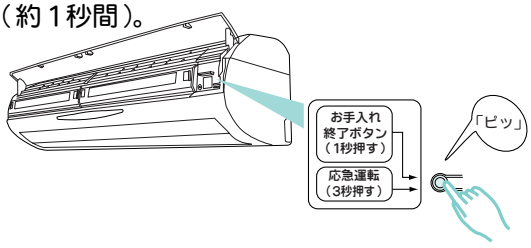
②ダストボックスを取り付け、左右2ヵ所のツマミを内側に倒す。



●ダストボックスとエアフィルターを取り付けたときに、エアフィルターが下にズレた場合は、一旦取りはずしてから再度取り付けてください。

② 電源プラグを差し込み、お手入れ終了ボタンを押す

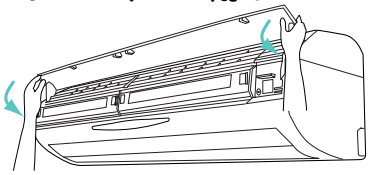
ダストボックスの取り付けが終了したら、電源プラグを入れ、本体のお手入れ終了ボタンを押す（約1秒間）。



＊お手入れランプ（赤）が点灯していた場合は、消灯します。

●お手入れ終了ボタンを押して「ピッ」と鳴ったら離してください。お手入れ終了ボタンを3秒以上押し続けると応急運転となります。（☞39ページ）
●お手入れ終了ボタンは必ず押してください。お手入れランプ（赤）が点灯している場合、フィルターオートクリーンが動作しません。

③ オープンパネルを閉める



エアフィルターのお手入れ

●フィルターオートクリーンを動作させてもエアフィルターの細かいホコリが取れないときは、水洗いしてください。
●エアフィルターのお手入れをするときは、ダストボックスも併せてお手入れすることをおすすめします。

① オープンパネルを開けて、ダストボックスとエアフィルターを取りはずす

ダストボックスのお手入れ
1を参照（☞32 ページ）。

② エアフィルターをダストボックスから引き抜く

ダストボックスのお手入れ
1を参照（☞32 ページ）。

③ ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする

●油汚れなど、汚れのひどい場合は、洗濯用合成洗剤（中性または弱アルカリ）をお使いください。
●水洗いの後はタオル等で拭き、日陰でよく乾かす。

●エアフィルターを折り曲げたり、丸めたりしないでください。フィルターオートクリーンを動作させたときにホコリが外に出てきたり、場合によっては破損やフィルターオートクリーンが動作しない原因となることがあります。
●たわしなどの固いものでこすらないでください。破損する恐れがあります。
● 60℃以上のお湯は絶対に使用しないでください。
●ドライヤーなど熱風で乾かさないでください。熱により変形する恐れがあります。
●**水洗い後、水切りのためにエアフィルターを強く振らないでください。破損の原因となります。**

④ ダストボックスにエアフィルターを差し込む

ダストボックスのお手入れ
3を参照（☞34 ページ）。

⑤ ダストボックスをエアコンに取り付け、オープンパネルを閉める

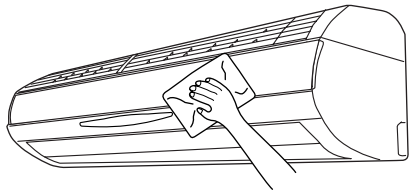
ダストボックスのお手入れ
4を参照（☞34 ページ）。

●エアフィルターのお手入れをした後に、フィルターオートクリーンが正常に動作しない（途中で止まる、フィルターが出てこない等）場合は、再度ダストボックス・エアフィルターを取り付け直してください。

本体のお手入れ

●ホコリを掃除機で吸い取り、水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきをする。

● 40℃以上の温水は使わないでください。変形、変色することがあります。
●ベンジン、シンナー、みがき粉などでふいたりしないでください。製品を傷めることがあります。



お手入れのしかた（つづき）

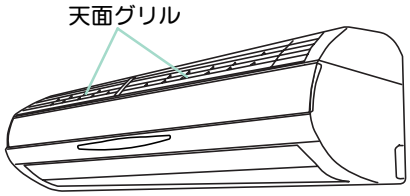
天面グリルのお手入れ

●ダストボックスのお手入れと同時に行ってください。

⚠注意

天面グリルの取付けは確実に行ってください。

●取付けに不備があると、天面グリルが落下し、ケガの原因となることがあります。



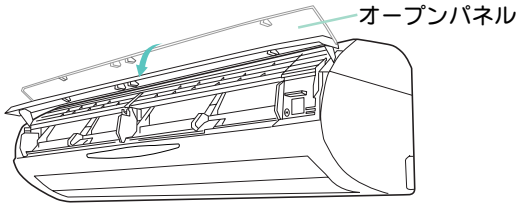
① オープンパネルを開けて、ダストボックスとエアフィルターをはずす

ダストボックスのお手入れ

1を参照（☞32 ページ）。

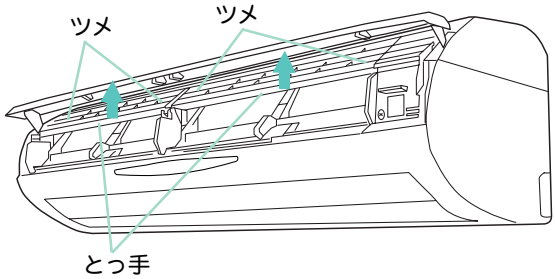
② オープンパネルを水平に戻す

ダストボックスを取り出すときに上に大きく開けたオープンパネルを水平となる位置に戻す（手を離してもパネルは開いたままとなります）。

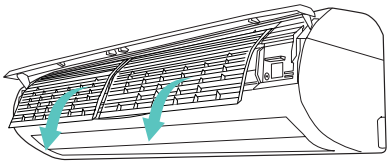


③ 天面グリルを取りはずす

①オープンパネルの奥にある天面グリル（左右２枚）中央部のとっ手を持ち、奥側に押すようにしながら上に持ち上げる。（天面グリルのツメ2ヵ所がはずれます）

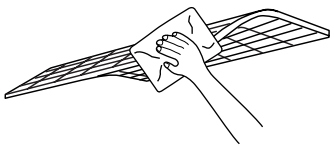


②天面グリルのとっ手を持ち、手前に引き出す。



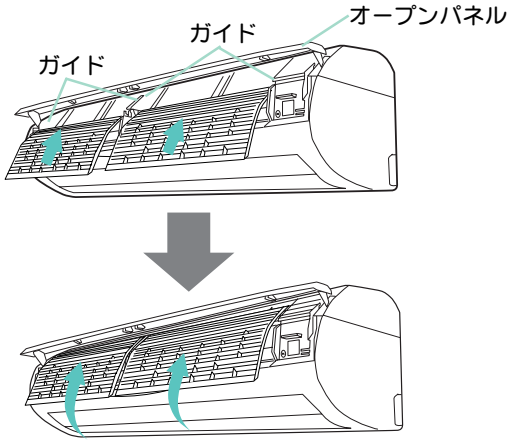
④ 水洗いする

ホコリを掃除機で吸い取り、水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきする。



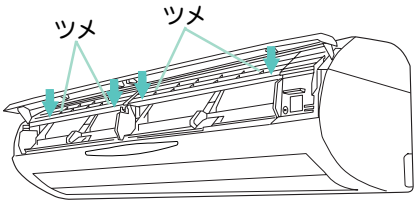
⑤ 天面グリルを取り付ける

①オープンパネルの下から天面グリルをガイドに沿わせて止まるところまで奥に差し込む（天面グリルの手前を少し持ち上げるようにして差し込んでください）。



●天面グリルの前後を確認してください。（とっ手に「マエ」「FRONT」の刻印があります）

②天面グリルのツメ部（2ヵ所）を矢印の方向に押して天面グリルをはめ込む。



●天面グリルがガイドに沿ってしっかりと奥まで差し込まれていないと、ツメがはまりません。取り付け後は、天面グリルを前後・上下に軽く振って、確実に取り付いていることを確認してください。

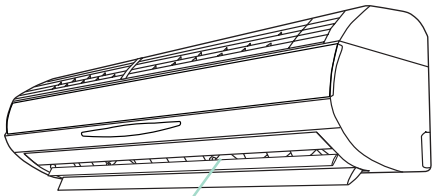
⑥ ダストボックスとエアフィルターを取り付け、オープンパネルを閉める

ダストボックスのお手入れ

4を参照（☞34 ページ）。

マイナスイオン発生器のお手入れ

●6ヵ月を目安にお手入れしてください。
●「シャー」「ジー」「パチパチ」などの音がしたときは、6ヵ月経過しなくてもお手入れしてください。

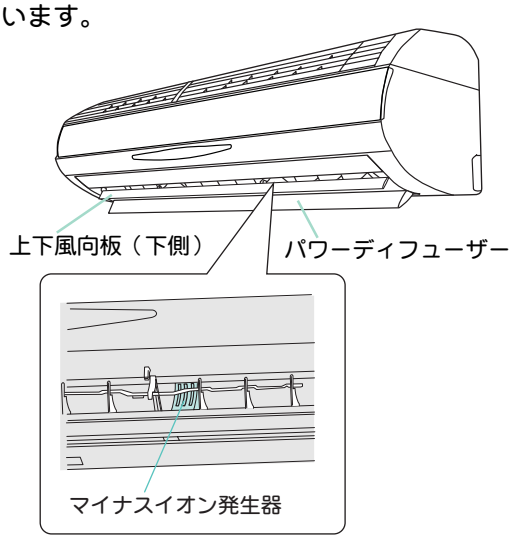


準備
●リモコンで運転を停止する。
●電源プラグを抜く。

●マイナスイオン発生器は吹出口の奥となっているので、必ず運転を停止し、室内ファンが停止したことを確認してからお手入れしてください。
●通電状態でマイナスイオン発生器内部の金属針に触れると感電する恐れがあります。

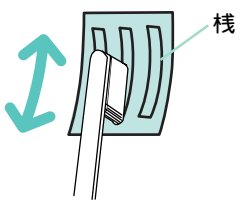
① 上下風向板（下側）とパワーディフューザーを手で全開にする

●吹出口の奥に桟で囲まれた部分があります。マイナスイオン発生器は桟の奥に取り付けられています。



② マイナスイオン発生器のホコリを取る

●桟の上から歯ブラシなどで桟に沿って３～４回軽くこすってください。
●綿棒など、毛羽立つものは使用しないでください。



③ 上下風向板とパワーディフューザーを閉じる

●マイナスイオン発生器をお手入れした後、上下風向板・パワーディフューザーが完全に閉まらないことがあります。この場合は、電源プラグを差すと正常に戻ります。

シーズン前・後のお手入れ

お手入れは、エアコンの運転を停止してから行ってください。

1ヵ月以上使わないときは

●晴れた日に半日ほど送風運転するか（☞16ページ）、UV内部クリーン運転を行い（☞21ページ）内部をよく乾燥させてください。
●運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
●リモコンから乾電池を取り出してください。
●シーズン前後は、ダストボックスのお手入れをすることをおすすめします（☞32ページ）。

⚠注意

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

●ホコリがたまって、発煙・発火の原因になることがあります。

点検整備は

●ご使用状態によって変わりますが、エアコンを2～3シーズンご使用になりますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備はお買上げの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要になります。

本体の清掃

●水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきしてください。

40℃以上の温水は使わないでください。

変形・変色することがあります。

揮発性・可燃性のものは使わないでください。

ベンジン、シンナー、みがき粉などでふいたり液状殺虫剤などをかけないでください。
製品を傷めることがあります。

⚠注意

室内ユニット内部の清掃はお買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

●室内ユニット内部の清掃は専門の技術を必要とします。市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

アースの確認

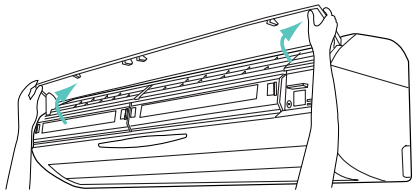
●アース線が断線していたり、はずれていないか確認してください。

リモコンが使えないとき（応急運転）

●電池が切れたときや、リモコンをなくしたときには、応急的に運転することができます。

1 オープンパネルを開ける

オープンパネルの下部両端に指を掛け、引っかかるところまで手前に引きます。手を離しても、オープンパネルが開いたままとなります。

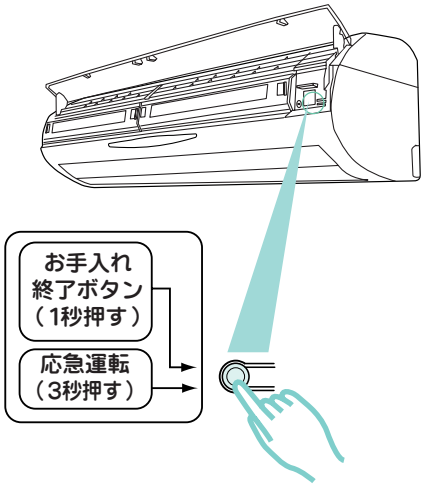


2 お手入れ終了・応急運転ボタンを約３秒間押し続ける

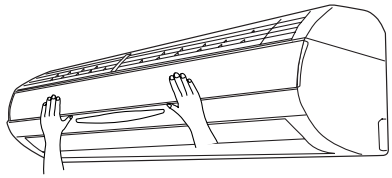
●お手入れ終了・応急運転ボタンを押すと「ピッ」と鳴りますが、ボタンをそのまま押し続けてください。

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

「自動運転」（☞16ページ）と同じ内容の運転となります。風量は「自動」、風向は「標準」、温度は「標準温度」で運転されます。



3 オープンパネルを閉める



オープンパネルを開けたまま運転しないでください。

停止するとき

もう一度、お手入れ終了・応急運転ボタンを約３秒間押し続ける

運転が停止し、本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

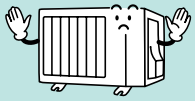
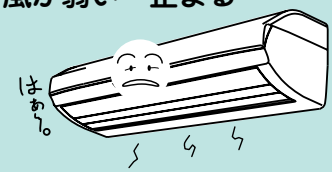
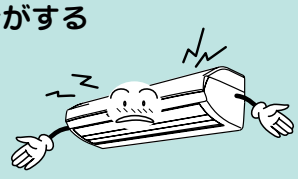
HA端子について

室内ユニットに内蔵された「HA端子」と「JEMA標準HA端子 - A」（H A JEM-A マーク）対応のテレコントローラーを接続することにより、外出先のプッシュホンからエアコンのON・OFFができます。

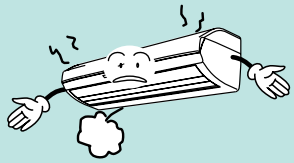
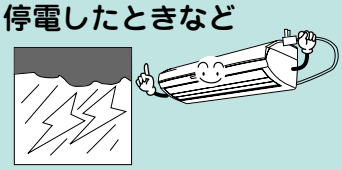
＊詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される前に

次のような状態は、故障ではありません。

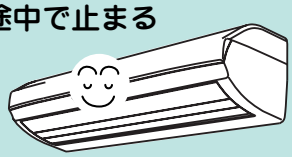
こんなとき	説明	参照ページ
お手入れランプ（緑）が点滅する	●フィルターオートクリーン動作時に、エアフィルターが入っていないときや、途中で引っ掛かったときに点滅します。 このときは運転を停止し、電源プラグを抜いてダストボックスとエアフィルターを取り付け直してください。	32、34
お手入れランプ（赤）が点灯する	●ダストボックスの清掃をお知らせしています。 このときは、フィルターオートクリーンが動作しません。運転を停止し、電源プラグを抜いて、ダストボックスとエアフィルターのお手入れをしてください。	31～35
本体表示部の運転ランプ（赤）が点滅する	●暖房・除湿モード運転時、外気温が低く湿度が高い場合、室外ユニットに霜がつくと、自動霜取り運転を行います（4～15分）。このとき、本体表示部の運転ランプが遅い点滅をします。 ●暖房・除湿モード運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動霜取り運転を行ってから停止します。自動霜取り運転中は、本体表示部の運転ランプが遅い点滅をします。	9
	●運転中に停電などによりいったん電源が切れると、本体表示部の運転ランプとタイマーランプが交互に点灯／消灯を繰り返します。	41
すぐ運転しない 	●運転停止後すぐに再運転した場合や、電源プラグをコンセントに差し込んだ場合、室外ユニットは約3分間運転しません。 これはエアコンが故障するのを防ぐためです。	——
	●除湿運転を始めたときや止めたときに除湿用電磁弁が切り換わる際、室外ユニットの運転が5分程度止まることがあります。 これはエアコンが故障するのを防ぐためです。	18
風が弱い・止まる 	●暖房運転を開始したとき、エアコン内部が温まるまでごく弱い風で運転します。 ●暖房運転のとき室温が設定温度より高くなると、室外ユニットが停止するとともに室内ユニットはごく弱い風で運転します。 お部屋を暖めたいときは、設定温度を室温より高くしてください。	——
	●暖房、除湿モード時の自動霜取り運転のとき、4～15分程度風が止まります（このときは運転ランプが点滅します）。	9
	●除湿モード運転のときは、お部屋の湿度調整のために、ごく弱い風で運転することがあります。	18～19
	●ソフト運転を行うと、弱めの風で運転します。	24
	●自動運転のとき、監視運転になるとごく弱い風で運転します。	16
音がする 	●運転中や停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなることがあります。これは、内部の液（冷媒）が流れる音です。 ●運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、オープンパネルや天面グリルなどがわずかに伸縮するために発生する音です。	——
	●暖房・除湿モード運転中、「プシュー」という音がすることがあります。これは自動霜取り運転が働いたときにする音です。	9
	●除湿モード運転時、室内ユニットから「カチッ」という音がすることがあります。これは除湿用電磁弁が動作している音です。	18～19
	●外気の温度が低く、圧縮機を予熱しているときは、室外ユニットから「キーン」という音がすることがあります。	9
	●マイナスイオン発生器から「ジー」という音がするときは、マイナスイオン発生器が汚れているためです。マイナスイオン発生器のお手入れをしてください。	37

次のような状態は、故障ではありません。

こんなとき	説明	参照ページ
フィルターオートクリーンが動作しない	●フィルターオートクリーンを連続動作させると、約2分間フィルターオートクリーンが動作しないことがあります。これは、機器の故障を防ぐためです。	——
リモコンから信号が送信されない	●除湿モード運転中は、風量が「自動」に固定されるため、風量切換ボタンを押しても風量の切換えはできません（本体へ送信されません）。	18～19
	●除湿モード運転中は、ダッシュボタンを押してもダッシュ運転を行うことはできません（本体へ送信されません）。	25
	●タイマー設定（ワンタッチ切タイマー以外）の際は、必ず予約ボタンを押さないと、設定の内容が本体に送信されません。	26～27
霧が出る・湯気が出る 	●冷房または除湿モード運転のとき、室内ユニットの吹出口から霧（煙のように見える）が出たようになることがあります。これは、吹き出した冷風でお部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためです。	——
	●暖房・除湿モード運転中、室外ユニットのファンが停止し、湯気が出ることがあります。これは自動霜取り運転を行っているためです。	9
ニオイがする	●室内ユニットからニオイが発生することがあります。これは、室内ユニット内部に吸着したお部屋・家具のニオイ、タバコのニオイなどが出てくるためです。	——
	●UV空気清浄運転時やUV内部クリーン運転時、オゾンがわずかに発生し、臭いを感じる場合があります。	——
室外ユニットから水が出る	●暖房・除湿モード運転のときは、室外ユニットから自動霜取り運転で溶けた水が出ます。	9
暖房運転を停止しても、室外ユニットが停止しない	●暖房・除湿モード運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います（OFF時除霜）。 このとき、室内ユニットの運転ランプが点滅し、室外ユニットだけが数分間運転してから止まります。	9
停電したときなど 	●運転中に停電したときは、すべての運転が停止します。 （タイマーの設定も取り消されます） 運転を再開する場合は、再度リモコンで運転し直してください。 ●運転中に停電などにより、いったん電源が切れると、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が交互に点灯します。 リモコンで運転を開始すると、交互点灯は止まります。 ●万一、運転中にカミナリ、カー無線などにより誤動作したときは、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んだ後にリモコンで運転させてください。	——

修理を依頼される前に（つづき）

次のようなときは、もう一度確認してください。

こんなとき	確認してください	参照ページ
運転しない 途中で止まる 	●タイマーが働いていませんか。	26～28
	●電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が働いていませんか。 ●停電ではありませんか。	――
よく冷えない よく暖まらない 	●温度調節のしかたが間違っていませんか。 ●エアフィルターが汚れていませんか。 ●エアコンの吸込口、吹出口を障害物でふさいでいませんか。 ●お部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●冷房運転のとき、日光が室内に差し込んでいたり、室内の熱源や在室人員が多過ぎたりしていませんか。	――
	●ソフト運転になっていませんか。	24
	●風量切換えが「微風」または「静音」になっていませんか。	17
	●除湿モード運転になっていませんか。	18～19
リモコンの設定と異なる運転をする リモコンを操作しても運転しない	●リモコンの電池が消耗していませんか。 ●電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	14
温度・湿度モニターがついていない	●温度・湿度モニターを無表示にしていませんか。	29

以上のことをお調べになり、なお具合の悪いときや、タイマーランプ（☞11ページ）が点滅しているときは、すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店にご連絡ください。（☞43ページ）

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書
（別に添付してあります）

●保証書は必ず販売店からお受け取りください。
●販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保存してください。

保証期間中の修理

●正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、冷却ユニットについては５年間、その他の部分については１年間無料修理を行います。保証書がありませんと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保存してください。

保証期間経過後の修理

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の
保有期間

●ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後９年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に
修理依頼ができない場合

●お近くの当社製品取扱店か、別紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことをお知らせください。

●形名……本体は下面のラベルに、リモコンは裏面に記載してあります。
●故障状態……できるだけ詳しく
（運転ランプが点滅しているときは、その点滅回数もお知らせください。）
●お買上げ年月日…保証書に書いてあります
●お名前、ご住所
●電話番号
●訪問ご希望日……ご都合の悪い日も

廃棄時のご注意
2001年４月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合に、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

仕様

このエアコンの仕様は以下のとおりです。

形名		室内		AS28JPZ
		室外		AO28JPZ
種類				冷房・暖房兼用形　分離形
電源				単相100V　50／60Hz
冷房面積の目安		鉄筋アパート南向き洋室	m^2	19
		木造南向き和室	m^2	13
暖房面積の目安		鉄筋アパート南向き洋室	m^2	18
		木造南向き和室	m^2	15
冷房	能力		kW	2.8（可変幅0.5～3.9）
	中間能力		kW	1.5
	消費電力		kW	0.460
	中間消費電力		kW	0.210
	運転電流		A	4.6
	エネルギー消費効率		－	6.09
	運転音	室内	dB	44
		室外	dB	44
暖房	標準能力		kW	4.0（可変幅0.5～7.6）
	中間標準能力		kW	2.1
	標準消費電力		kW	0.675
	中間標準消費電力		kW	0.285
	運転電流（最大）		A	6.8（20.0）
	エネルギー消費効率		－	5.93
	運転音	室内	dB	45
		室外	dB	44
冷暖房平均エネルギー消費効率			－	6.01
外形寸法（高さ×幅×奥行）		室内	cm	25.0×89.0×28.8
		室外	cm	57.8×79.0×30.0
製品質量（総質量）		室内	kg	13.5
		室外	kg	37
付属品				リモコン（1）、単四形アルカリ乾電池（2）、リモコンホルダー（1）、据付工事用部品（一式）

●この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
●電気特性、性能についてはJIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
●運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です（室内運転音は風量「強風」のときの数値です）。
●リモコンで停止したときの消費電力は0.9Wです。

愛情点検

長年ご使用のエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？
●電源コード・プラグの過熱やコードに破れがある。
●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
●運転中にこげ臭いニオイがする。
●運転音が異常に大きい。
●運転スイッチやボタンの操作が不確実。
●室内ユニットから水が漏れる。
●その他の異常や故障がある。

ご使用の中止
故障や事故防止のため、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口に点検・修理をご相談ください。

お客様へ……おぼえのため、お買上げ年月日、お買上げ店名を記入されると便利です。

お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名	
	TEL

FUJITSU
株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地
☎044（866）1111（大代表）

9312463015